

## 第Ⅱ部

# アンケート調査報告



# 第1章 調査の概要

## 1. 調査の目的

社会福祉協議会では、平成23年度から生活支援相談員を配置し、東日本大震災で被災された住民の方々に対する支援を行っています。

発災から5年が経過した現在、生活再建の中で住民の皆様がどのように暮らし、どのような困りごと等を感じておられるかをおたずねし、これからの方々への支援のあり方について検討するためにアンケート調査を実施しました。

## 2. 調査の概要

### ○調査対象者としている

- ・生活支援相談員及びもりおか復興支援センター相談員が見守り対象としている約15,700世帯の構成員のうち、20歳以上の方全員2,270人

### ○調査方法

- ・訪問留置、郵送回収（無記名）

### ○調査期間

- ・平成28年10月1日～11月15日

### ○調査対象数と回収状況

#### 【見守りの種類別】

見守りの種類	対象数(人)	回答数(人)	回収率(%)
重点見守り世帯	239	198	82.8
通常見守り世帯	1,512	1,014	67.1
不定期見守り世帯	519	308	59.3
合 計	2,270	1,520	67.0

### 【 市町村別 】

市町村名		対象数(人)	回答数(人)	回収率(%)
沿岸北部	洋野町	2	2	100.0
	久慈市	20	12	60.0
	野田村	82	48	58.5
	田野畠村	55	44	80.0
	岩泉町	31	18	58.1
小 計		190	124	65.3
沿岸南部	宮古市	355	193	54.4
	山田町	259	240	92.7
	大槌町	351	175	49.9
	釜石市	432	243	56.3
	大船渡市	218	195	89.4
	陸前高田市	252	185	73.4
小 計		1,867	1,231	65.9
内陸	盛岡市・ もりおか復興支援センター	66	53	80.3
	花巻市	26	21	80.8
	北上市	41	34	82.9
	遠野市	15	15	100.0
	一関市	18	16	88.9
	奥州市	21	14	66.7
	滝沢市	16	10	62.5
	住田町	10	2	20.0
小 計		213	165	77.5
合 計		2,270	1,520	67.0

※岩手県内 33 市町村のうち、生活支援相談員は 19 市町村に配置されている。

### 3. 報告書の見方

- ・ 百分率 (%) は、すべて小数点以下第 2 位を四捨五入した数値であるため、合計が 100% にならない場合がある。
- ・ 本文中に掲載した図表の単位は、特にことわりのない限り、「%」であらわしている。
- ・ 質問に回答した人数 (%の母数) は、図表題の右に「n=1,520」と記している。本調査では、すべての質問が回答総数 1,520 人である。

## 第2章 調査結果

### 1. 基本属性

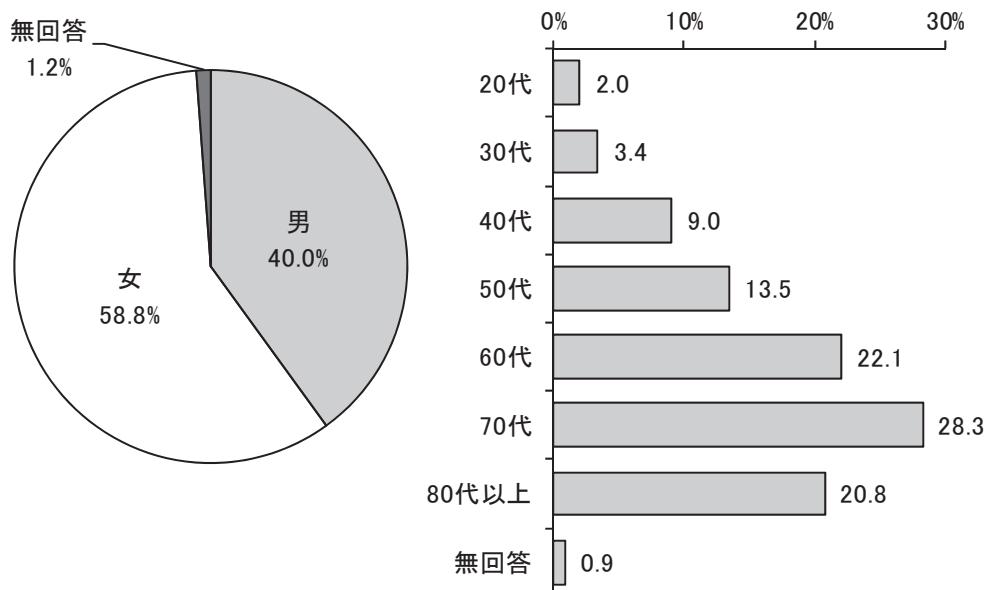
#### (1) 性別と年齢

問19 あなたの性別を教えてください。(1つに○)

問20 あなたの年齢を教えてください。(1つに○)

- 調査回答者 1,520 名の性別は、「男」 40.0%、「女」 58.8%である。
- 年齢は、「60 代」「70 代」「80 代以上」を合わせると 7 割を超える。

図表1 性別と年齢(単数回答) n=1,520



- 年齢を詳しくみると（次ページ参照）、「80 代以上」は居住市町村別では沿岸南部、対象分類別では重点見守り世帯、同居者における介護等の必要性別では自分または同居人の中に要介護 1～5（要支援 1・2 を除く）の人がいる世帯などにおいて割合が高い。

図表2 性別(単数回答)

		合計 (人)	男	女	無回答
全体		1,520	40.0	58.8	1.2
居住市町村	沿岸北部	124	43.5	55.6	0.8
	沿岸南部	1,231	39.9	59.0	1.1
	内陸	165	38.2	60.0	1.8
対象分類	重点見守り世帯	198	39.9	59.1	1.0
	通常見守り世帯	1,014	39.2	59.6	1.3
	不定期見守り世帯	308	42.9	56.2	1.0
介同護居等者における必要性	18歳以下の子どもを1人で育てている	15	6.7	93.3	0.0
	自分または同居人の中に障がい者手帳を持っている人がいる	172	43.0	56.4	0.6
	自分または同居人の中に要介護1~5(要支援1・2を除く)の人がいる	143	38.5	61.5	0.0
	いずれもあてはまらない	1,135	41.1	58.7	0.2

※居住市町村、対象分類、同居者における介護等の必要性の無回答は省略している。

※「同居者における介護等の必要性」は複数回答である。

図表3 年齢(単数回答)

		合計 (人)	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	無回答
全体		1,520	2.0	3.4	9.0	13.5	22.1	28.3	20.8	0.9
居住市町村	沿岸北部	124	5.6	5.6	11.3	8.9	25.0	31.5	12.1	0.0
	沿岸南部	1,231	1.2	2.8	8.1	13.9	21.5	28.8	22.8	0.8
	内陸	165	5.5	6.1	13.9	13.9	24.2	22.4	12.1	1.8
対象分類	重点見守り世帯	198	1.5	0.5	4.0	6.6	14.6	28.8	43.4	0.5
	通常見守り世帯	1,014	2.0	3.4	9.7	13.8	23.3	29.5	17.6	0.9
	不定期見守り世帯	308	2.6	5.5	10.1	16.9	23.1	24.0	16.9	1.0
介同護居等者における必要性	18歳以下の子どもを1人で育てている	15	6.7	26.7	26.7	20.0	6.7	13.3	0.0	0.0
	自分または同居人の中に障がい者手帳を持っている人がいる	172	4.1	2.3	9.3	18.0	16.3	28.5	20.9	0.6
	自分または同居人の中に要介護1~5(要支援1・2を除く)の人がいる	143	0.7	0.0	5.6	9.8	27.3	23.8	32.2	0.7
	いずれもあてはまらない	1,135	1.9	3.9	9.6	13.9	23.1	29.2	18.4	0.0
今 の 住 まい	応急仮設住宅	617	1.0	3.4	8.1	15.2	23.0	29.2	19.8	0.3
	みなし仮設住宅	153	3.9	4.6	13.1	16.3	20.9	23.5	17.6	0.0
	災害公営住宅	265	1.9	1.9	9.8	9.4	24.9	30.9	21.1	0.0
	東日本大震災で被災した後に再建した住宅	294	4.1	2.7	8.8	15.3	19.7	28.2	20.7	0.3
	東日本大震災前と同じ住宅	104	1.0	3.8	4.8	4.8	24.0	26.9	34.6	0.0
	その他	61	1.6	9.8	14.8	18.0	19.7	23.0	13.1	0.0

※居住市町村、対象分類、年齢、同居者における介護等の必要性、今住まいの無回答は省略している。

※「同居者における介護等の必要性」は複数回答である。

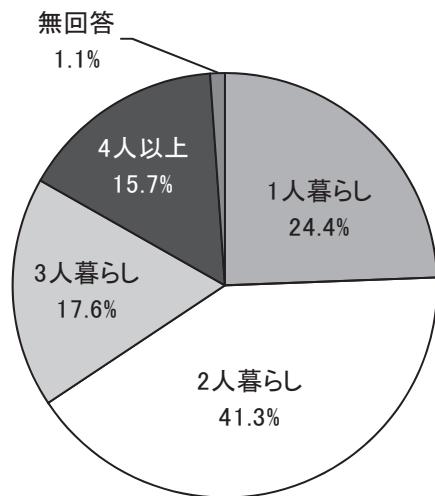
## (2)家族

問21 あなたは、何人で暮らしているか教えてください。(1つに○)

---

- ・ 調査回答者の家族人数は、「1人暮らし」24.4%、「2人暮らし」41.3%などとなっており、65.7%が2人以下の世帯である。

図表4 家族(単数回答) n=1,520



- ・ 「1人暮らし」の割合が高いのは(次ページ参照)、居住市町村別では沿岸南部、対象分類別では重点見守り世帯、年齢別では70代以上、今の住まい別では災害公営住宅居住者である。

図表5 家族(単数回答)

		合計 (人)	1人暮らし	2人暮らし	3人暮らし	4人以上	無回答
全体		1,520	24.4	41.3	17.6	15.7	1.1
居住市町村	沿岸北部	124	8.9	47.6	17.7	25.8	0.0
	沿岸南部	1,231	26.9	41.2	16.7	14.1	1.1
	内陸	165	17.6	37.0	24.2	19.4	1.8
対象分類	重点見守り世帯	198	52.0	33.8	7.1	7.1	0.0
	通常見守り世帯	1,014	23.1	43.9	16.5	15.5	1.1
	不定期見守り世帯	308	11.0	37.3	27.9	21.8	1.9
年齢	20代	31	16.1	6.5	25.8	51.6	0.0
	30代	52	3.8	26.9	17.3	51.9	0.0
	40代	137	10.2	24.8	26.3	38.7	0.0
	50代	205	12.2	42.0	25.4	20.0	0.5
	60代	336	22.0	46.7	17.6	13.4	0.3
	70代	430	29.8	47.2	15.1	7.4	0.5
	80代以上	316	38.9	40.8	11.7	7.6	0.9
介護等の必要性	18歳以下の子どもを1人で育てている	15	6.7	46.7	33.3	13.3	0.0
	自分または同居人の中に障がい者手帳を持っている人がいる	172	14.5	45.3	16.9	23.3	0.0
	自分または同居人の中に要介護1~5(要支援1・2を除く)の人がいる	143	13.3	44.8	19.6	22.4	0.0
	いずれもあてはまらない	1,135	26.9	41.4	16.7	14.6	0.4
	応急仮設住宅	617	24.0	45.2	16.7	13.6	0.5
今の住まい	みなし仮設住宅	153	22.9	38.6	22.9	15.7	0.0
	災害公営住宅	265	43.4	44.2	6.8	5.7	0.0
	東日本大震災で被災した後に再建した住宅	294	10.5	35.4	29.6	24.5	0.0
	東日本大震災前と同じ住宅	104	25.0	35.6	14.4	23.1	1.9
	その他	61	14.8	44.3	13.1	27.9	0.0

※居住市町村、対象分類、年齢、同居者における介護等の必要性、今の住まいの無回答は省略している。

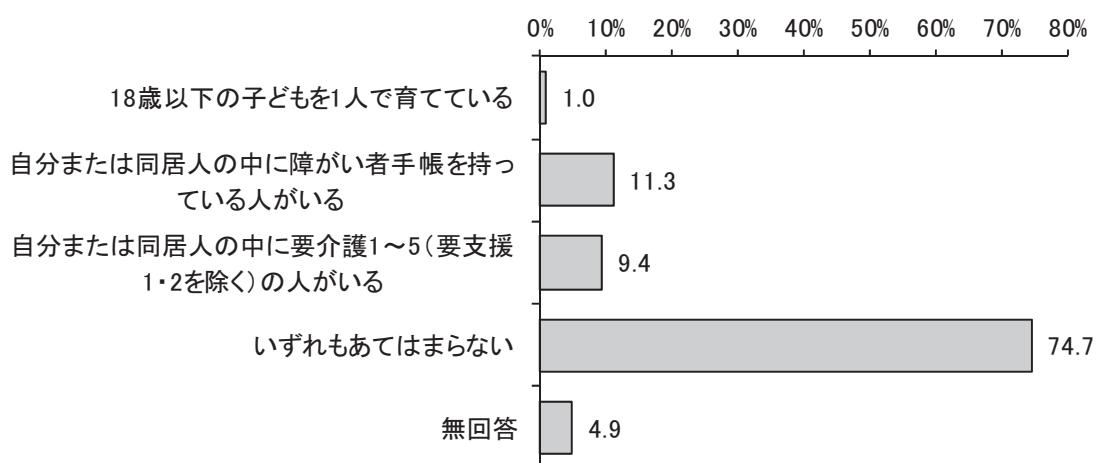
※「同居者における介護等の必要性」は複数回答である。

### (3) 同居者における介護等の必要性

問22 あなたの状況にあてはまるものを教えてください。あてはまるものすべてに○をしてください。

- 調査回答者の同居者における介護等の必要性は、「いずれもあてはまらない」が74.7%で最も多く、「自分または同居人の中に障がい者手帳を持っている人がいる」11.3%、「自分または同居人の中に要介護1～5（要支援1・2を除く）の人がいる」9.4%、「18歳以下の子どもを1人で育てている」1.0%などとなっている。

図表6 同居者における介護等の必要性（複数回答） n=1,520



- 「自分または同居人の中に要介護1～5（要支援1・2を除く）の人がいる」割合が高いのは（次ページ参照）、対象分類別では重点見守り世帯・不定期見守り世帯となっている。
- 今の住まい別では、応急仮設住宅・東日本大震災で被災した後に再建した住宅・東日本大震災前と同じ住宅居住者であり、これらは1割以上が「自分または同居人の中に要介護1～5（要支援1・2を除く）の人がいる」と回答している。

図表7 同居者における介護等の必要性(複数回答)

		合計 (人)	18歳以下の子どもを1人で育てている	がい者手帳を持っている人がいる	自分または同居人の中に障がい者手帳を持っている人がいる	介護1～5（要支援1・2を除く）の人がいる	自分または同居人の中に要介護1～5（要支援1・2を除く）の人がいる	いずれもあてはまらない	無回答
全体		1,520	1.0	11.3	9.4	74.7	4.9		
居住市町村	沿岸北部	124	0.0	12.9	6.5	77.4	3.2		
	沿岸南部	1,231	0.9	10.2	9.8	75.4	5.0		
	内陸	165	2.4	18.2	8.5	67.3	6.1		
対象分類	重点見守り世帯	198	0.0	11.6	16.7	67.7	6.6		
	通常見守り世帯	1,014	1.2	11.2	7.5	76.4	4.8		
	不定期見守り世帯	308	1.0	11.4	11.0	73.4	4.2		
今の住まい	応急仮設住宅	617	0.5	10.9	10.2	76.0	4.9		
	みなし仮設住宅	153	2.0	16.3	6.5	72.5	4.6		
	災害公営住宅	265	2.3	10.6	4.5	78.9	3.8		
	東日本大震災で被災した後に再建した住宅	294	0.7	8.8	11.6	75.9	3.4		
	東日本大震災前と同じ住宅	104	0.0	17.3	14.4	66.3	2.9		
	その他	61	1.6	9.8	8.2	78.7	1.6		

※居住市町村、対象分類、今の住まいの無回答は省略している。

#### (4) 東日本大震災の時に住んでいた市町村または県

問23 あなたが、東日本大震災の時に住んでいた市町村または県を教えてください。

(1つに○)

---

- 調査回答者 1,520 名が東日本大震災の時に住んでいた市町村または県は、山田町、釜石市、大槌町、陸前高田市、宮古市、大船渡市が多く、これらで 9 割近くを占めている。

図表8 東日本大震災の時に住んでいた市町村または県(単数回答) n=1,520

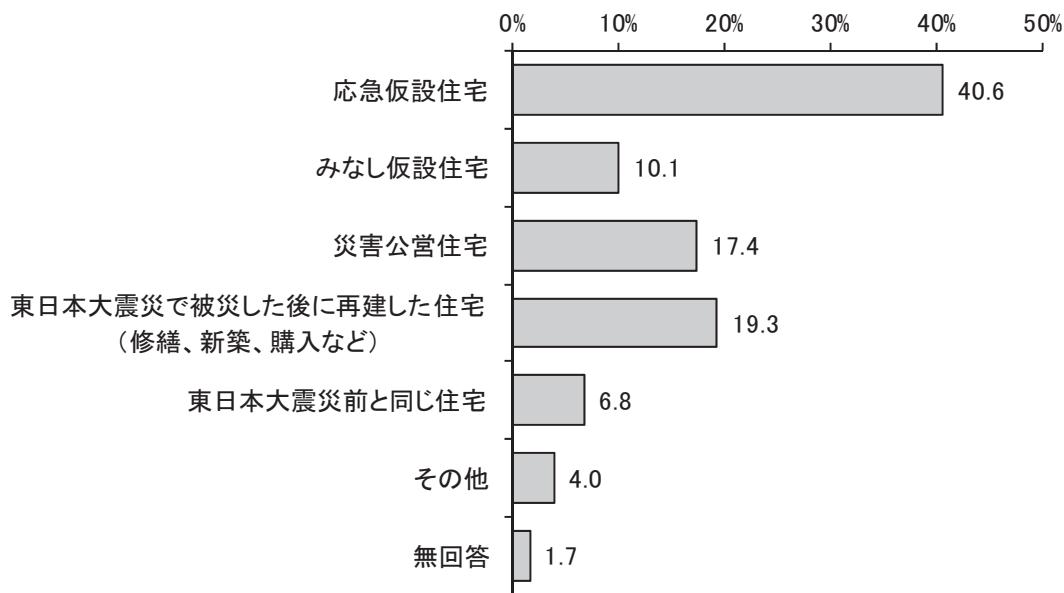
市町村または県	回答数	%
洋野町	3	0.2
野田村	52	3.4
久慈市	7	0.5
普代村	0	0.0
田野畠村	45	3.0
岩泉町	17	1.1
宮古市	202	13.3
山田町	265	17.4
大槌町	225	14.8
釜石市	253	16.6
大船渡市	191	12.6
陸前高田市	208	13.7
宮城県	13	0.9
福島県	6	0.4
その他	19	1.3
無回答	14	0.9
全体	1,520	100.0

## (5) 今の住まい

問24 あなたの今の住まいを教えてください。(1つに○)

- 今の住まいは、「応急仮設住宅」40.6%、「みなし仮設住宅」10.1%、「災害公営住宅」17.4%、「東日本大震災で被災した後に再建した住宅（修繕、新築、購入など）」19.3%、「東日本大震災前と同じ住宅」6.8%となっている。

図表9 今の住まい(単数回答) n=1,520



- 今の住まいについて、応急仮設住宅の割合が最も高いのは（次ページ参照）、居住市町村別では沿岸南部、対象分類別では重点見守り世帯・通常見守り世帯などとなっている。
- みなし仮設住宅の割合が最も高いのは、居住市町村別では内陸、「東日本大震災で被災した後に再建した住宅」の割合が最も高いのは、居住市町村別では沿岸北部、対象分類別では不定期見守り世帯である。

図表10 今の住まい(単数回答)

		合計 (人)	応急仮設住宅	みなし仮設住宅	災害公営住宅	東日本大震災で被災した後に再建した住宅	東日本大震災前と同じ	住宅	その他	無回答
全体		1,520	40.6	10.1	17.4	19.3	6.8	4.0	1.7	
居住市町村	沿岸北部	124	4.0	2.4	12.9	①46.0	32.3	2.4	0.0	
	沿岸南部	1,231	①49.6	6.7	20.1	14.9	5.2	1.9	1.6	
	内陸	165	0.6	①41.2	0.6	32.7	0.0	21.2	3.6	
対象分類	重点見守り世帯	198	①55.1	6.6	23.2	9.6	3.5	2.0	0.0	
	通常見守り世帯	1,014	①47.3	11.4	17.8	13.4	4.3	4.0	1.7	
	不定期見守り世帯	308	9.1	7.8	12.7	①45.1	17.2	5.2	2.9	
家族状況	1人暮らし	371	①39.9	9.4	31.0	8.4	7.0	2.4	1.9	
	2人暮らし	627	①44.5	9.4	18.7	16.6	5.9	4.3	0.6	
	3人暮らし	267	①38.6	13.1	6.7	32.6	5.6	3.0	0.4	
	4人以上	238	①35.3	10.1	6.3	30.3	10.1	7.1	0.8	
介護等の必要性	18歳以下の子どもを1人で育てている	15	20.0	20.0	①40.0	13.3	0.0	6.7	0.0	
	自分または同居人の中に障がい者手帳を持っている人がいる	172	①39.0	14.5	16.3	15.1	10.5	3.5	1.2	
	自分または同居人の中に要介護1~5(要支援1・2を除く)の人がいる	143	①44.1	7.0	8.4	23.8	10.5	3.5	2.8	
	いずれもあてはまらない	1,135	①41.3	9.8	18.4	19.6	6.1	4.2	0.5	

※居住市町村、対象分類、家族分類、同居者における介護等の必要性の無回答は省略している。

※「同居者における介護等の必要性」は複数回答である。

※①は説明変数別にみた第一位の数値である。

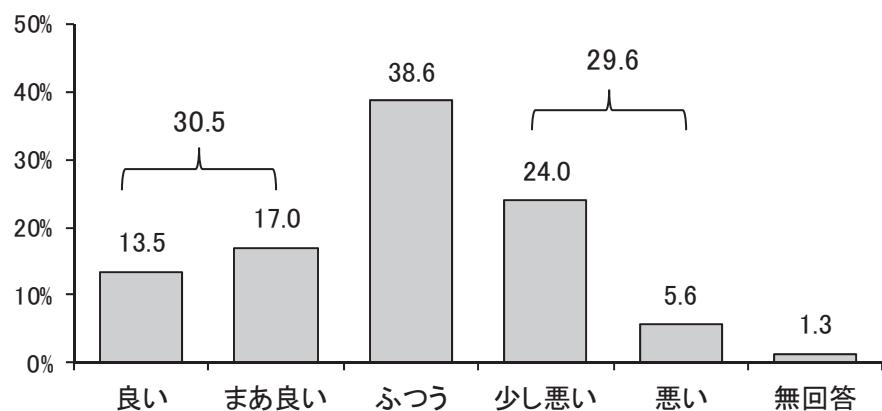
## 2. 現在の暮らしの状況

### (1) 体の調子

問1 あなたは、今、体の調子は良いですか。(1つに○)

- ・ 体の調子は、「良い」 13.5%、「まあ良い」 17.0%、「ふつう」 38.6%、「少し悪い」 24.0%、「悪い」 5.6%であり、最も高い割合は「ふつう」である。
- ・ 『良い』（「良い」 + 「まあ良い」）は 30.5%、『悪い』（「少し悪い」 + 「悪い」）は 29.6%であり、大きな差はみられない。

図表11 体の調子(単数回答) n=1,520



- ・ 体の調子について、『悪い』割合が高いのは（次ページ参照）、対象分類別では重点見守り世帯・通常見守り世帯、年齢別では 70 代以上、家族状況別では 1 人あるいは 2 人暮らし、今の住まい別ではみなし仮設住宅・東日本大震災前と同じ住宅居住者である。

図表12 体の調子(単数回答)

		合計 (人)	良い	まあ良い	ふつう	少し悪い	悪い	無回答	『良い』	『悪い』
全体		1,520	13.5	17.0	38.6	24.0	5.6	1.3	30.5	29.6
居住市町村	沿岸北部	124	9.7	19.4	①40.3	②22.6	6.5	1.6	29.1	29.1
	沿岸南部	1,231	14.0	17.2	①38.3	②23.8	5.5	1.1	31.2	29.3
	内陸	165	12.7	13.3	①39.4	②26.7	5.5	2.4	26.0	32.2
対象分類	重点見守り世帯	198	14.1	17.2	①29.8	①29.8	9.1	0.0	31.3	38.9
	通常見守り世帯	1,014	12.9	16.4	①39.6	②24.0	5.7	1.4	29.3	29.7
	不定期見守り世帯	308	14.9	18.8	①40.9	②20.5	2.9	1.9	33.7	23.4
年齢	20代	31	25.8	②19.4	①35.5	9.7	6.5	3.2	45.2	16.2
	30代	52	17.3	②25.0	①40.4	13.5	3.8	0.0	42.3	17.3
	40代	137	13.9	18.2	①44.5	②21.2	1.5	0.7	32.1	22.7
	50代	205	18.5	16.6	①45.4	②17.6	2.0	0.0	35.1	19.6
	60代	336	12.2	17.3	①41.4	②22.3	6.0	0.9	29.5	28.3
	70代	430	11.9	16.0	①37.7	②25.6	7.4	1.4	27.9	33.0
	80代以上	316	11.7	16.1	②29.7	①32.3	7.3	2.8	27.8	39.6
家族状況	1人暮らし	371	13.2	19.9	①32.1	②27.8	5.9	1.1	33.1	33.7
	2人暮らし	627	13.4	14.8	①40.4	②23.8	6.7	1.0	28.2	30.5
	3人暮らし	267	12.7	18.4	①42.3	②21.3	3.7	1.5	31.1	25.0
	4人以上	238	14.7	16.4	①40.3	②21.8	4.6	2.1	31.1	26.4
今 の 住 ま い	応急仮設住宅	617	11.8	18.0	①39.4	②23.2	6.6	1.0	29.8	29.8
	みなし仮設住宅	153	11.8	15.7	①37.3	②26.8	8.5	0.0	27.5	35.3
	災害公営住宅	265	17.0	16.6	①36.6	②26.4	1.9	1.5	33.6	28.3
	東日本大震災で被災した後に再建した住宅	294	15.6	17.0	①38.1	②22.1	6.5	0.7	32.6	28.6
	東日本大震災前と同じ住宅	104	9.6	17.3	①39.4	②27.9	3.8	1.9	26.9	31.7
	その他	61	16.4	11.5	①44.3	②21.3	3.3	3.3	27.9	24.6

※『良い』 = 「良い」 + 「まあ良い」

※『悪い』 = 「少し悪い」 + 「悪い」

※居住市町村、対象分類、年齢、家族状況、今のお住まいの無回答は省略している。

※①は説明変数別にみた第一位の数値、②は第二位の数値である。

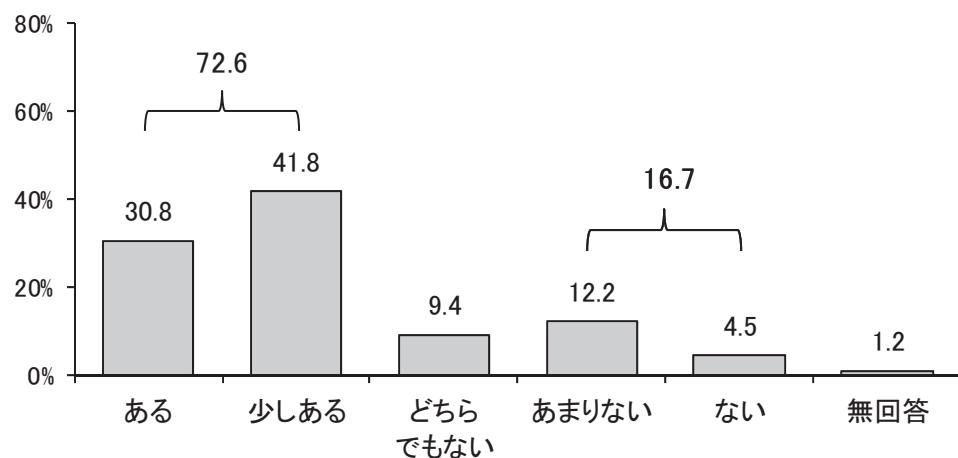
※網掛けは全体を上回る数値である。

## (2) 体の調子をととのえるために心がけていること

問2 あなたは、体の調子をととのえるために、運動や食事など、心がけていることがありますか。(1つに○)

- ・ 体の調子をととのえるために心がけていることは、「ある」 30.8%、「少しある」 41.8%、「どちらでもない」 9.4%、「あまりない」 12.2%、「ない」 4.5%であり、最も高い割合は「少しある」である。
- ・ 『ある』（「ある」 + 「少しある」）は 72.6%、『ない』は（「あまりない」 + 「ない」） 16.7%であり、『ある』が多数を占めている。

図表13 体の調子をととのえるために心がけていること(単数回答) n=1,520



- ・ 体の調子をととのえるために心がけていることについては（次ページ参照）、年齢別では 60 代以上にこころがけていることが『ある』割合が高くなっている。

図表14 体の調子をととのえるために心がけていること(単数回答)

		合計 (人)	ある	少しある	どちらでもない	あまりない	ない	無回答	『ある』	『ない』
全体		1,520	30.8	41.8	9.4	12.2	4.5	1.2	72.6	16.7
居住市町村	沿岸北部	124	②21.8	①46.8	15.3	8.1	5.6	2.4	68.6	13.7
	沿岸南部	1,231	②31.6	①42.2	8.9	12.3	4.1	1.0	73.8	16.4
	内陸	165	②31.5	①35.8	9.1	14.5	7.3	1.8	67.3	21.8
対象分類	重点見守り世帯	198	②33.8	①38.4	9.1	10.1	7.6	1.0	72.2	17.7
	通常見守り世帯	1,014	②30.4	①43.2	9.2	12.5	3.9	0.8	73.6	16.4
	不定期見守り世帯	308	②30.2	①39.6	10.4	12.7	4.5	2.6	69.8	17.2
年齢	20代	31	19.4	①29.0	16.1	②22.6	12.9	0.0	48.4	35.5
	30代	52	13.5	①30.8	②26.9	15.4	13.5	0.0	44.3	28.9
	40代	137	12.4	①40.1	②22.6	19.7	4.4	0.7	52.5	24.1
	50代	205	②19.0	①45.4	14.1	18.5	2.9	0.0	64.4	21.4
	60代	336	②28.9	①45.5	8.0	11.0	5.4	1.2	74.4	16.4
	70代	430	②38.6	①44.0	5.1	8.1	2.8	1.4	82.6	10.9
	80代以上	316	①41.8	②36.1	4.7	10.4	4.7	2.2	77.9	15.1
家族状況	1人暮らし	371	①40.4	②38.8	5.1	10.0	4.3	1.3	79.2	14.3
	2人暮らし	627	②33.3	①43.1	8.0	10.0	4.8	0.8	76.4	14.8
	3人暮らし	267	②22.5	①45.7	9.7	17.2	3.7	1.1	68.2	20.9
	4人以上	238	17.6	①38.7	②19.7	16.4	5.5	2.1	56.3	21.9
今 の 住 まい	応急仮設住宅	617	②28.8	①44.6	8.1	13.3	4.2	1.0	73.4	17.5
	みなし仮設住宅	153	②30.7	①37.3	11.8	14.4	5.9	0.0	68.0	20.3
	災害公営住宅	265	②31.7	①44.5	8.7	10.2	3.8	1.1	76.2	14.0
	東日本大震災で被災した後に再建した住宅	294	②32.7	①40.5	10.9	10.2	4.4	1.4	73.2	14.6
	東日本大震災前と同じ住宅	104	②30.8	①36.5	12.5	11.5	6.7	1.9	67.3	18.2
	その他	61	②31.1	①34.4	8.2	16.4	6.6	3.3	65.5	23.0

※『ある』=「ある」+「少しある」

※『ない』=「あまりない」+「ない」

※居住市町村、対象分類、年齢、家族状況、今のお住まいの無回答は省略している。

※①は説明変数別にみた第一位の数値、②は第二位の数値である。

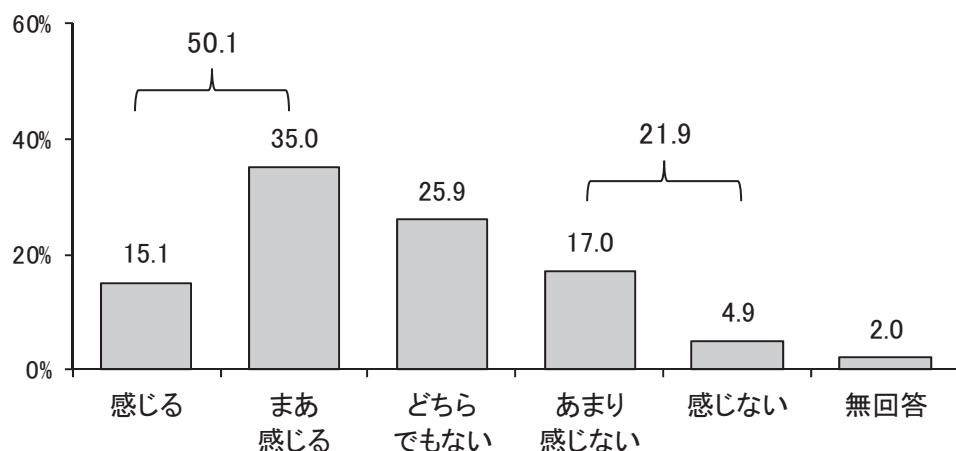
※網掛けは全体を上回る数値である。

### (3) 楽しさや生きがい感

問3 あなたは、毎日の暮らしに、楽しさや生きがいを感じますか。(1つに○)

- ・ 楽しさや生きがい感は、「感じる」 15.1%、「まあ感じる」 35.0%、「どちらでもない」 25.9%、「あまり感じない」 17.0%、「感じない」 4.9%であり、最も高い割合は「まあ感じる」である。
- ・ 『感じる』(「感じる」+「まあ感じる」) は 50.1%、『感じない』(「あまり感じない」+「感じない」) 21.9%であり、『感じる』が過半数を占める。

図表15 楽しさや生きがい感(単数回答) n=1,520



- ・ 楽しさや生きがい感について、『感じない』の割合が高いのは(次ページ参照)、居住市町村別では沿岸南部・内陸、対象分類別では重点見守り世帯・通常見守り世帯、同居者における介護等の必要性別では自分または同居人の中に障がい者手帳を持っている人がいる・自分または同居人の中に要介護1~5(要支援1・2を除く)の人がいる世帯、今の住まい別では応急仮設住宅・みなし仮設住宅・災害公営住宅居住者となっている。
- ・ 18歳以下の子どもを1人で育てている人や東日本大震災で被災した後に再建した住宅居住者は楽しさや生きがい感を「感じる」が2割を超え、生きがい感を感じている割合が高い。

図表16 楽しさや生きがい感(単数回答)

		合計 (人)	感じる	まあ感じる	どちらでもない	あまり感じない	感じない	無回答	『感じる』	『感じない』
全体		1,520	15.1	35.0	25.9	17.0	4.9	2.0	50.1	21.9
居住市町村	沿岸北部	124	10.5	43.5	27.4	12.9	1.6	4.0	54.0	14.5
	沿岸南部	1,231	15.4	34.8	26.0	17.1	5.0	1.8	50.2	22.1
	内陸	165	16.4	29.7	24.2	20.0	7.3	2.4	46.1	27.3
対象分類	重点見守り世帯	198	12.1	30.3	26.3	20.2	9.1	2.0	42.4	29.3
	通常見守り世帯	1,014	14.8	35.0	25.7	17.8	5.0	1.7	49.8	22.8
	不定期見守り世帯	308	17.9	38.0	26.3	12.7	1.9	3.2	55.9	14.6
介護同居等者における必要性	18歳以下の子どもを1人で育てている	15	20.0	40.0	20.0	13.3	6.7	0.0	60.0	20.0
	自分または同居人の中に障がい者手帳を持っている人がいる	172	9.3	33.1	29.7	19.8	5.8	2.3	42.4	25.6
	自分または同居人の中に要介護1~5(要支援1・2を除く)の人がいる	143	8.4	27.3	32.2	25.9	3.5	2.8	35.7	29.4
	いずれもあてはまらない	1,135	16.8	36.1	25.6	15.2	4.9	1.3	52.9	20.1
今の住まい	応急仮設住宅	617	13.8	32.9	28.0	18.5	5.5	1.3	46.7	24.0
	みなし仮設住宅	153	9.8	36.6	28.8	17.6	5.9	1.3	46.4	23.5
	災害公営住宅	265	14.3	37.4	23.0	16.6	6.8	1.9	51.7	23.4
	東日本大震災で被災した後に再建した住宅	294	20.7	38.1	23.1	12.9	3.1	2.0	58.8	16.0
	東日本大震災前と同じ住宅	104	13.5	33.7	28.8	19.2	1.9	2.9	47.2	21.1
	その他	61	23.0	23.0	24.6	21.3	3.3	4.9	46.0	24.6

※『感じる』=「感じる」+「まあ感じる」

※『感じない』=「あまり感じない」+「感じない」

※居住市町村、対象分類、同居者における介護等の必要性、今の住まいの無回答は省略している。

※「同居者における介護等の必要性」は複数回答である。

※網掛けは全体を上回る数値である。

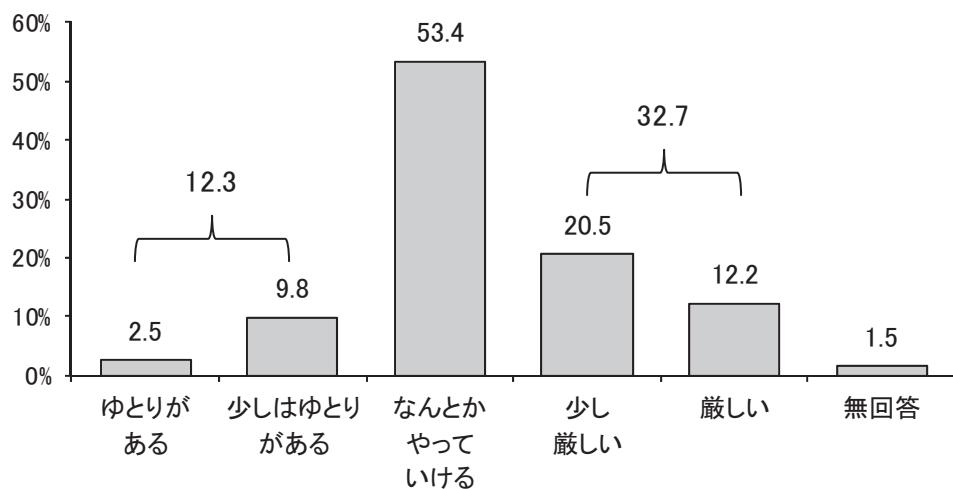
#### (4)現在の家計・今後の家計

問4 あなたは、今の家計をどのように感じていますか。(1つに○)

問5 あなたは、今後(だいたい5年後)、家計が良くなると思いますか。(1つに○)

- 現在の家計は、「ゆとりがある」2.5%、「少しある」9.8%、「なんとかやっている」53.4%、「少し厳しい」20.5%、「厳しい」12.2%であり、最も高い割合は「なんとかやっている」である。
- 『ゆとりがある』(「ゆとりがある」+「少しある」)は12.3%、『厳しい』(「少し厳しい」+「厳しい」)は32.7%であり、『厳しい』が『ゆとりがある』を上回った。

図表17 現在の家計(単数回答) n=1,520



- 現在の家計について、居住市町村別、対象分類別、年齢別、同居者における介護等の必要性別、今の住まい別のいずれにおいても、「なんとかやっている」が第一位、「少し厳しい」が第二位となっている(次ページ参照)。
- 「少し厳しい」の割合が高かったのは、40代、自分または同居人の中に要介護1～5(要支援1・2を除く)の人がいる人などである。
- また「厳しい」の割合が高かったのは、20代、18歳以下の子どもを1人で育てている人などである。

図表18 現在の家計(単数回答)

		合計 (人)	ゆとりがある	少しうとりがある	なんとかやつていける	少し厳しい	厳しい	無回答	『ゆとりがある』	『厳しい』
全体		1,520	2.5	9.8	53.4	20.5	12.2	1.5	12.3	32.7
居住市町村	沿岸北部	124	1.6	10.5	55.6	21.0	8.9	2.4	12.1	29.9
	沿岸南部	1,231	2.6	10.1	54.1	20.1	11.8	1.3	12.7	31.9
	内陸	165	2.4	7.3	46.7	23.0	18.2	2.4	9.7	41.2
対象分類	重点見守り世帯	198	5.1	7.1	53.0	23.2	11.1	0.5	12.2	34.3
	通常見守り世帯	1,014	2.0	9.0	52.4	21.8	13.3	1.6	11.0	35.1
	不定期見守り世帯	308	2.6	14.3	57.1	14.6	9.4	1.9	16.9	24.0
年齢	20代	31	3.2	3.2	51.6	22.6	19.4	0.0	6.4	42.0
	30代	52	1.9	13.5	42.3	26.9	15.4	0.0	15.4	42.3
	40代	137	2.2	8.0	40.1	29.9	18.2	1.5	10.2	48.1
	50代	205	2.4	9.8	50.2	21.5	15.6	0.5	12.2	37.1
	60代	336	1.2	9.5	50.0	25.0	12.8	1.5	10.7	37.8
	70代	430	2.6	11.9	56.0	17.7	10.5	1.4	14.5	28.2
	80代以上	316	4.1	8.2	62.7	13.9	8.2	2.8	12.3	22.1
介護等の必要性	18歳以下の子どもを1人で育てている	15	0.0	0.0	46.7	26.7	26.7	0.0	0.0	53.4
	自分または同居人の中に障がい者手帳を持っている人がいる	172	1.7	6.4	54.7	21.5	14.0	1.7	8.1	35.5
	自分または同居人の中に要介護1～5(要支援1・2を除く)の人がいる	143	0.7	6.3	45.5	32.9	10.5	4.2	7.0	43.4
	いずれもあてはまらない	1,135	3.0	11.0	53.4	19.3	12.5	0.8	14.0	31.8
今の住まい	応急仮設住宅	617	2.4	9.4	53.0	21.1	13.0	1.1	11.8	34.1
	みなし仮設住宅	153	0.7	6.5	52.3	25.5	14.4	0.7	7.2	39.9
	災害公営住宅	265	3.0	6.8	52.1	20.4	15.5	2.3	9.8	35.9
	東日本大震災で被災した後に再建した住宅	294	3.1	13.6	55.8	17.3	9.5	0.7	16.7	26.8
	東日本大震災前と同じ住宅	104	3.8	13.5	54.8	21.2	4.8	1.9	17.3	26.0
	その他	61	1.6	13.1	49.2	18.0	13.1	4.9	14.7	31.1

※『ゆとりがある』=『ゆとりがある』+『少しうとりがある』

※『厳しい』=『少し厳しい』+『厳しい』

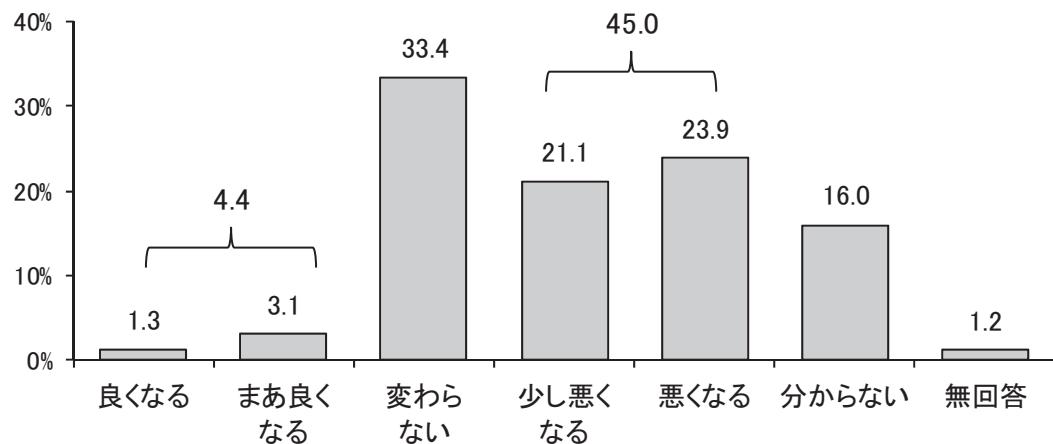
※居住市町村、対象分類、年齢、同居者における介護等の必要性、今の住まいの無回答は省略している。

※「同居者における介護等の必要性」は複数回答である。

※網掛けは全体を上回る数値である。

- 今後の家計は、「良くなる」1.3%、「まあ良くなる」3.1%、「変わらない」33.4%、「少し悪くなる」21.1%、「悪くなる」23.9%、「分からぬ」16.0%であり、最も高い割合は「変わらない」である。
- 『良くなる』（「良くなる」+「まあ良くなる」）は4.4%、『悪くなる』（「少し悪くなる」+「悪くなる」）は45.0%であり、『悪くなる』が『良くなる』を上回った。

図表19 今後の家計(単数回答) n=1,520



- 今後の家計について、『悪くなる』は（次ページ参照）、居住市町村別では沿岸北部、対象分類別では通常見守り世帯、年齢別では60代、今の住まい別では応急仮設に居住している人の割合が高くなっている。

図表20 今後の家計(単数回答)

		合計 (人)	良くなる	まあ良くなる	変わらない	少し悪くなる	悪くなる	分からぬ	無回答	『良くなる』	『悪くなる』
全体		1,520	1.3	3.1	33.4	21.1	23.9	16.0	1.2	4.4	45.0
居住市町村	沿岸北部	124	0.8	2.4	①28.2	23.4	②25.8	16.9	2.4	3.2	49.2
	沿岸南部	1,231	1.3	3.1	①34.8	21.4	②23.5	15.0	0.9	4.4	44.9
	内陸	165	1.8	3.6	①27.3	17.0	②25.5	22.4	2.4	5.4	42.5
対象分類	重点見守り世帯	198	4.0	0.5	①35.4	②20.7	16.7	22.2	0.5	4.5	37.4
	通常見守り世帯	1,014	0.9	3.5	①32.5	20.7	②25.7	15.6	1.1	4.4	46.4
	不定期見守り世帯	308	1.0	3.6	①35.1	22.7	②22.4	13.3	1.9	4.6	45.1
年齢	20代	31	0.0	9.7	①41.9	12.9	16.1	②19.4	0.0	9.7	29.0
	30代	52	0.0	7.7	①40.4	13.5	11.5	②25.0	1.9	7.7	25.0
	40代	137	2.2	6.6	②25.5	18.2	①27.7	19.0	0.7	8.8	45.9
	50代	205	1.5	6.3	①26.8	25.9	②26.3	12.7	0.5	7.8	52.2
	60代	336	1.2	1.5	②26.5	23.8	①33.3	13.1	0.6	2.7	57.1
	70代	430	0.7	1.6	①35.1	20.9	②24.7	15.8	1.2	2.3	45.6
	80代以上	316	2.2	1.9	①44.0	②18.7	13.0	17.7	2.5	4.1	31.7
今 の 住 ま い	応急仮設住宅	617	1.3	2.3	①29.3	24.0	②25.0	17.2	1.0	3.6	49.0
	みなし仮設住宅	153	0.7	3.9	①28.8	20.9	②24.2	21.6	0.0	4.6	45.1
	災害公営住宅	265	2.3	2.3	①35.5	17.7	②27.9	12.8	1.5	4.6	45.6
	東日本大震災で被災した後に再建した住宅	294	1.0	4.8	①38.4	21.1	②22.1	11.9	0.7	5.8	43.2
	東日本大震災前と同じ住宅	104	1.0	2.9	①40.4	15.4	②20.2	17.3	2.9	3.9	35.6
	その他	61	1.6	6.6	①31.1	②21.3	16.4	19.7	3.3	8.2	37.7

※『良くなる』＝「良くなる」＋「まあ良くなる」

※『悪くなる』＝「少し悪くなる」＋「悪くなる」

※居住市町村、対象分類、年齢、今のお住まいの無回答は省略している。

※①は説明変数別にみた第一位の数値、②は第二位の数値である。

※網掛けは全体を上回る数値である。

図表21 今後の家計(単数回答)

		合計 (人)	良くなる	まあ良くなる	変わらない	少し悪くなる	悪くなる	分からぬ	無回答	『良くなる』	『悪くなる』
全体		1,520	1.3	3.1	33.4	21.1	23.9	16.0	1.2	4.4	45.0
問4 現在の家計	ゆとりがある	38	23.7	2.6	47.4	10.5	13.2	2.6	0.0	26.3	23.7
	少しさゆとりがある	149	2.0	10.1	51.7	23.5	6.7	5.4	0.7	12.1	30.2
	なんとかやっていける	812	0.4	2.7	39.0	26.2	16.9	14.2	0.6	3.1	43.1
	少し厳しい	312	0.6	1.6	23.1	18.9	38.5	17.3	0.0	2.2	57.4
	厳しい	186	1.1	1.1	12.4	4.8	47.3	33.3	0.0	2.2	52.1

※『良くなる』＝「良くなる」＋「まあ良くなる」

※『悪くなる』＝「少し悪くなる」＋「悪くなる」

※「問4 現在の家計」の無回答は省略している。

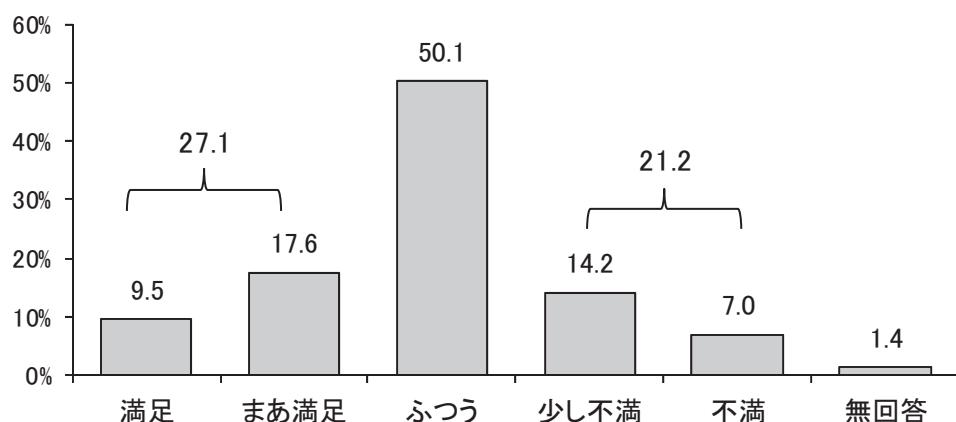
## (5)現在の地域の暮らしやすさ・今後の居住意向

問6 あなたは、今住んでいる地域(自治会・町内会の範囲)の暮らしやすさに満足していますか。(1つに○)

問7 あなたは、今後(だいたい5年後)も、今住んでいる地域(自治会・町内会の範囲)に住み続けたいですか。(1つに○)

- 現在の地域の暮らしやすさは、「満足」9.5%、「まあ満足」17.6%、「ふつう」50.1%、「少し不満」14.2%、「不満」7.0%であり、最も高い割合は「ふつう」である。
- 『満足』(「満足」+「まあ満足」)は27.1%、『不満』(「少し不満」+「不満」)は21.2%であり、『満足』が『不満』を上回った。

図表22 地域の暮らしやすさ(単数回答) n=1,520



- 現在の地域の暮らしやすさについて(次ページ参照)、「不満」や『不満』は、今の住まい別の応急仮設住宅において割合が高くなっている。

図表23 地域の暮らしやすさ(単数回答)

		合計 (人)	満足	まあ満足	ふつう	少し不満	不満	無回答	『満足』	『不満』
全体		1,520	9.5	17.6	50.1	14.2	7.0	1.4	27.1	21.2
居住市町村	沿岸北部	124	8.9	19.4	46.8	16.1	4.8	4.0	28.3	20.9
	沿岸南部	1,231	8.6	17.1	50.9	14.8	7.6	1.0	25.7	22.4
	内陸	165	17.0	20.0	46.7	8.5	4.8	3.0	37.0	13.3
対象分類	重点見守り世帯	198	18.2	17.2	39.9	15.7	7.6	1.5	35.4	23.3
	通常見守り世帯	1,014	7.6	17.0	52.0	14.1	8.0	1.4	24.6	22.1
	不定期見守り世帯	308	10.4	20.1	50.6	13.6	3.6	1.6	30.5	17.2
今 の 住 まい	応急仮設住宅	617	6.8	13.8	51.9	16.2	10.0	1.3	20.6	26.2
	みなし仮設住宅	153	14.4	20.3	47.7	12.4	4.6	0.7	34.7	17.0
	災害公営住宅	265	10.6	20.4	49.4	13.2	4.5	1.9	31.0	17.7
	東日本大震災で被災した後に再建した住宅	294	10.9	21.1	50.7	11.6	5.1	0.7	32.0	16.7
	東日本大震災前と同じ住宅	104	9.6	17.3	51.0	17.3	2.9	1.9	26.9	20.2
	その他	61	16.4	16.4	41.0	11.5	11.5	3.3	32.8	23.0

※『満足』 = 「満足」 + 「まあ満足」

※『不満』 = 「少し不満」 + 「不満」

※居住市町村、対象分類、今のはまいの無回答は省略している。

※網掛けは全体を上回る数値である。

図表24 地域の暮らしやすさ(単数回答)

		合計 (人)	満足	まあ満足	ふつう	少し不満	不満	無回答	『満足』	『不満』
全体		1,520	9.5	17.6	50.1	14.2	7.0	1.4	27.1	21.2
相談する・困りごとを受ける・助け手を問9	ある	333	19.2	23.4	42.3	10.5	4.2	0.3	42.6	14.7
	ときどきある	507	7.1	21.7	50.5	13.4	6.7	0.6	28.8	20.1
	どちらともいえない	194	3.1	13.9	60.3	15.5	5.7	1.5	17.0	21.2
	あまりない	288	5.9	12.8	53.1	21.2	5.9	1.0	18.7	27.1
	ない	181	12.2	8.3	51.9	11.6	16.0	0.0	20.5	27.6
相談する・困りごとを受ける・助け手を問10	ある	225	20.9	21.3	36.9	12.9	8.0	0.0	42.2	20.9
	ときどきある	500	7.2	20.8	51.4	14.0	5.8	0.8	28.0	19.8
	どちらともいえない	283	7.4	17.7	58.7	12.7	3.2	0.4	25.1	15.9
	あまりない	327	7.6	14.4	53.5	17.7	6.4	0.3	22.0	24.1
	ない	167	9.0	10.8	48.5	12.6	18.0	1.2	19.8	30.6
周辺の地域や周辺の地域の方との関わり問13	自分から声をかけて関わりたい	379	16.9	29.8	35.4	11.9	5.8	0.3	46.7	17.7
	声をかけられたら関わる	563	8.5	17.4	55.4	13.9	3.9	0.9	25.9	17.8
	どちらともいえない	404	5.9	10.9	62.1	13.9	6.7	0.5	16.8	20.6
	あまり関わりたくない	107	2.8	8.4	42.1	25.2	20.6	0.9	11.2	45.8
	関わりたくない	33	12.1	3.0	30.3	18.2	36.4	0.0	15.1	54.6

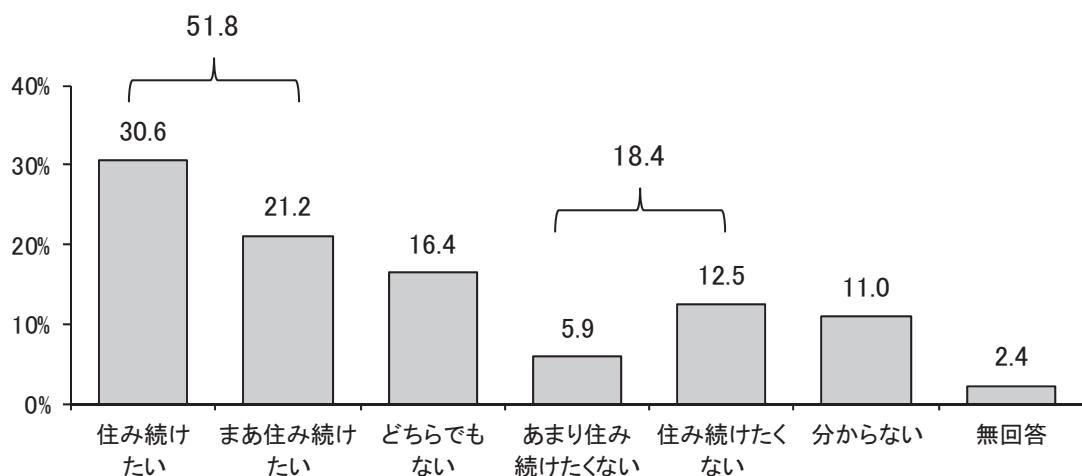
※『満足』 = 「満足」 + 「まあ満足」

※『不満』 = 「少し不満」 + 「不満」

※「問9 手助けを受ける・困りごとを相談すること」「問10 手助けをする・困りごとの相談にのること」「問13 ご近所や周辺の地域の方との関わり」の無回答は省略している。

- 今後の居住意向は、「住み続けたい」30.6%、「まあ住み続けたい」21.2%、「どちらでもない」16.4%、「あまり住み続けたくない」5.9%、「住み続けたくない」12.5%、「分からぬ」11.0%であり、最も高い割合は「住み続けたい」である。
- 『住み続けたい』（「住み続けたい」+「まあ住み続けたい」）は51.8%であり、過半数を占めた。

図表25 今後の居住意向(単数回答) n=1,520



- 『住み続けたくない』という意向は（次ページ参照）、今の住まい別では応急仮設住宅・みなし仮設住宅居住者に高い割合となっている。
- 反対に、東日本大震災で被災した後に再建した住宅居住者は過半数が「住み続けたい」と回答している。

図表26 今後の居住意向(単数回答)

		合計 (人)	住み 続け たい	まあ住み 続け たい	どちら でも ない	あまり住み 続け たくない	住み 続け たくない	分から ない	無回答	『住み 続け たい』	『住み 続け たくない』
全体		1,520	30.6	21.2	16.4	5.9	12.5	11.0	2.4	51.8	18.4
居住市町村	沿岸北部	124	①46.0	②26.6	11.3	3.2	2.4	8.1	2.4	72.6	5.6
	沿岸南部	1,231	①28.8	②20.1	17.0	6.7	14.5	10.8	2.0	48.9	21.2
	内陸	165	①32.1	②24.8	16.4	2.4	4.8	14.5	4.8	56.9	7.2
対象分類	重点見守り世帯	198	①32.8	②17.2	12.6	5.1	14.6	15.2	2.5	50.0	19.7
	通常見守り世帯	1,014	①27.9	②19.2	18.0	6.3	14.8	11.6	2.1	47.1	21.1
	不定期見守り世帯	308	①38.0	②30.2	13.6	5.2	3.6	6.2	3.2	68.2	8.8
今の住まい	応急仮設住宅	617	17.5	14.1	②21.9	8.6	①22.9	12.6	2.4	31.6	31.5
	みなし仮設住宅	153	②20.3	19.6	17.0	3.9	15.0	①22.9	1.3	39.9	18.9
	災害公営住宅	265	①35.5	②29.1	14.3	4.2	4.5	9.8	2.6	64.6	8.7
	東日本大震災で被災した後に再建した住宅	294	①53.1	②25.2	8.5	3.4	3.7	4.1	2.0	78.3	7.1
	東日本大震災前と同じ住宅	104	①45.2	②29.8	11.5	4.8	0.0	6.7	1.9	75.0	4.8
	その他	61	①29.5	②21.3	②21.3	6.6	4.9	13.1	3.3	50.8	11.5

※『住み続けたい』＝『住み続けたい』+『まあ住み続けたい』

※『住み続けたくない』＝『あまり住み続けたくない』+『住み続けたくない』

※居住市町村、対象分類、今の住まいの無回答は省略している。

※①は説明変数別にみた第一位の数値、②は第二位の数値である。

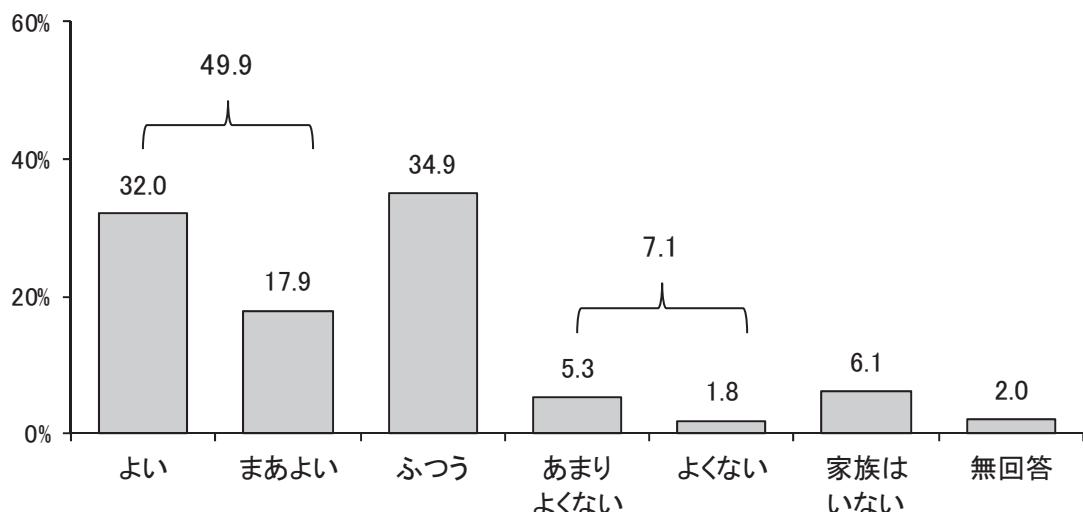
※網掛けは全体を上回る数値である。

## (6) 家族との関係

問8 あなたは、家族(同居・別居を問いません)との関係はよいですか。(1つに○)

- 家族との関係は、「よい」 32.0%、「まあよい」 17.9%、「ふつう」 34.9%、「あまりよくない」 5.3%、「よくない」 1.8%、「家族はいない」 6.1%であり、最も高い割合は「ふつう」である。
- 『よい』(「よい」 + 「まあよい」) は 49.9%、『よくない』(「あまりよくない」 + 「よくない」) は 7.1%と 1 割以下となった。

図表27 家族との関係(単数回答) n=1,520



- 家族との関係について、「よい」を第一位にあげたのは(次ページ参照)、居住市町村別では内陸、対象分類別では重点見守り世帯・不定期見守り世帯、家族形態別では1人暮らし、今の住まい別では災害公営住宅・東日本大震災で被災した後に再建した住宅居住者である。

図表28 家族との関係(単数回答)

		合計 (人)	よい	まあよい	ふつう	あまりよくない	よくない	家族はない	無回答	『よい』	『よくない』
全体		1,520	32.0	17.9	34.9	5.3	1.8	6.1	2.0	49.9	7.1
居住市町村	沿岸北部	124	32.3	25.0	①35.5	2.4	0.8	0.8	3.2	57.3	3.2
	沿岸南部	1,231	31.0	17.1	①35.6	5.5	2.0	7.0	1.7	48.1	7.5
	内陸	165	①38.8	18.2	29.7	5.5	1.2	3.6	3.0	57.0	6.7
対象分類	重点見守り世帯	198	①35.4	13.1	27.8	9.1	1.5	10.6	2.5	48.5	10.6
	通常見守り世帯	1,014	30.3	18.6	①36.6	4.8	1.8	6.1	1.8	48.9	6.6
	不定期見守り世帯	308	①35.4	18.5	34.1	4.2	2.3	3.2	2.3	53.9	6.5
家族状況	1人暮らし	371	①32.3	11.6	21.8	4.6	2.7	23.7	3.2	43.9	7.3
	2人暮らし	627	32.9	19.0	①39.4	5.4	1.3	0.6	1.4	51.9	6.7
	3人暮らし	267	29.6	17.6	①41.6	7.9	2.2	0.0	1.1	47.2	10.1
	4人以上	238	31.1	25.2	①36.6	3.4	1.3	0.0	2.5	56.3	4.7
今の住まい	応急仮設住宅	617	27.7	18.6	①38.1	5.8	1.8	6.5	1.5	46.3	7.6
	みなし仮設住宅	153	33.3	16.3	①34.6	9.2	1.3	3.9	1.3	49.6	10.5
	災害公営住宅	265	①33.6	14.3	32.1	6.0	1.5	10.6	1.9	47.9	7.5
	東日本大震災で被災した後に再建した住宅	294	①41.5	17.7	30.3	3.4	2.7	2.4	2.0	59.2	6.1
	東日本大震災前と同じ住宅	104	22.1	24.0	①42.3	2.9	1.0	5.8	1.9	46.1	3.9
	その他	61	①36.1	19.7	34.4	1.6	1.6	3.3	3.3	55.8	3.2

※『よい』=「よい」+「まあよい」

※『よくない』=「あまりよくない」+「よくない」

※居住市町村、対象分類、家族状況、今の住まいの無回答は省略している。

※①は説明変数別にみた第一位の数値である。

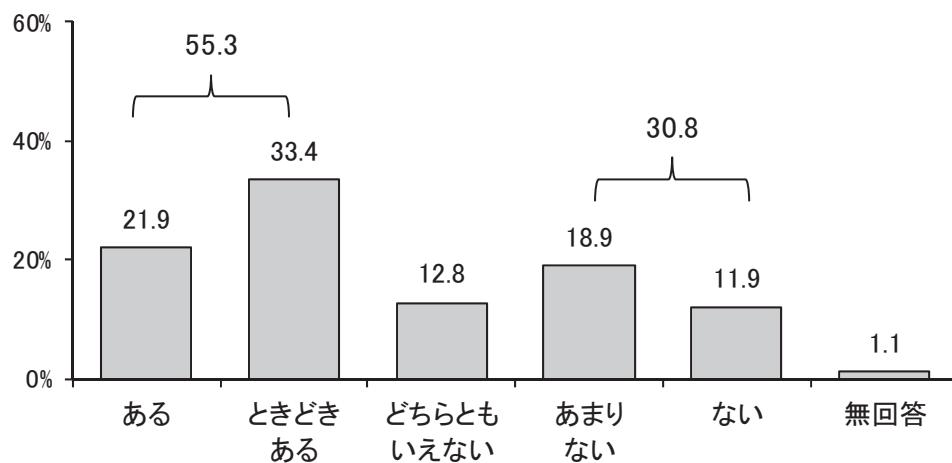
※網掛けは全体を上回る数値である。

## (7)手助けを受ける・困りごとを相談すること

問9 あなたは、家族や友人・知人、ご近所など身近な人から手助けを受けたり、困りごとの相談にのってもらうことがありますか。(1つに○)

- 手助けを受ける・困りごとを相談することは、「ある」21.9%、「ときどきある」33.4%、「どちらともいえない」12.8%、「あまりない」18.9%、「ない」11.9%であり、最も高い割合は「ときどきある」である。
- 『ある』（「ある」 + 「ときどきある」）は55.3%で過半数を占めた。

図表29 手助けを受ける・困りごとを相談すること(単数回答) n=1,520



- 手助けを受ける・困りごとを相談することについて、『ある』が6割を超えたのは(次ページ参照)、居住市町村別では沿岸北部、性別では女性、年齢別では20~30代である。
- また、「ない」が高いのは、今の住まい別のみなし仮設住宅、性別の男性となっている。

図表30 手助けを受ける・困りごとを相談すること(単数回答)

		合計 (人)	ある	ときどき ある	どちらともい えない	あまりない	ない	無回答	『ある』	『ない』
全体		1,520	21.9	33.4	12.8	18.9	11.9	1.1	55.3	30.8
居住市町村	沿岸北部	124	23.4	37.1	17.7	13.7	5.6	2.4	60.5	19.3
	沿岸南部	1,231	21.1	33.5	12.5	19.7	12.3	0.9	54.6	32.0
	内陸	165	26.7	29.7	10.9	17.6	13.3	1.8	56.4	30.9
対象分類	重点見守り世帯	198	26.3	27.8	12.1	20.7	12.1	1.0	54.1	32.8
	通常見守り世帯	1,014	19.9	36.5	13.0	17.8	11.8	1.0	56.4	29.6
	不定期見守り世帯	308	25.6	26.6	12.3	21.8	12.0	1.6	52.2	33.8
性別	男	608	16.9	29.4	13.0	22.0	17.1	1.5	46.3	39.1
	女	894	25.2	36.0	12.6	17.0	8.3	0.9	61.2	25.3
年齢	20代	31	32.3	35.5	9.7	6.5	16.1	0.0	67.8	22.6
	30代	52	32.7	32.7	11.5	11.5	11.5	0.0	65.4	23.0
	40代	137	15.3	34.3	19.0	21.2	9.5	0.7	49.6	30.7
	50代	205	17.6	33.2	15.6	21.5	12.2	0.0	50.8	33.7
	60代	336	17.0	36.0	8.9	21.7	15.2	1.2	53.0	36.9
	70代	430	22.1	34.9	13.0	17.4	10.9	1.6	57.0	28.3
	80代以上	316	29.1	28.5	12.3	18.4	10.1	1.6	57.6	28.5
今 の 住 ま い	応急仮設住宅	617	14.9	36.6	14.3	19.8	13.3	1.1	51.5	33.1
	みなし仮設住宅	153	20.3	35.9	6.5	19.6	17.6	0.0	56.2	37.2
	災害公営住宅	265	26.8	31.7	11.7	19.6	9.1	1.1	58.5	28.7
	東日本大震災で被災し た後に再建した住宅	294	32.0	27.9	12.9	17.7	9.2	0.3	59.9	26.9
	東日本大震災前と同じ 住宅	104	22.1	36.5	14.4	13.5	11.5	1.9	58.6	25.0
	その他	61	24.6	24.6	16.4	21.3	9.8	3.3	49.2	31.1

※『ある』 = 「ある」 + 「ときどきある」

※『ない』 = 「あまりない」 + 「ない」

※居住市町村、対象分類、性別、年齢、今のお住まいの無回答は省略している。

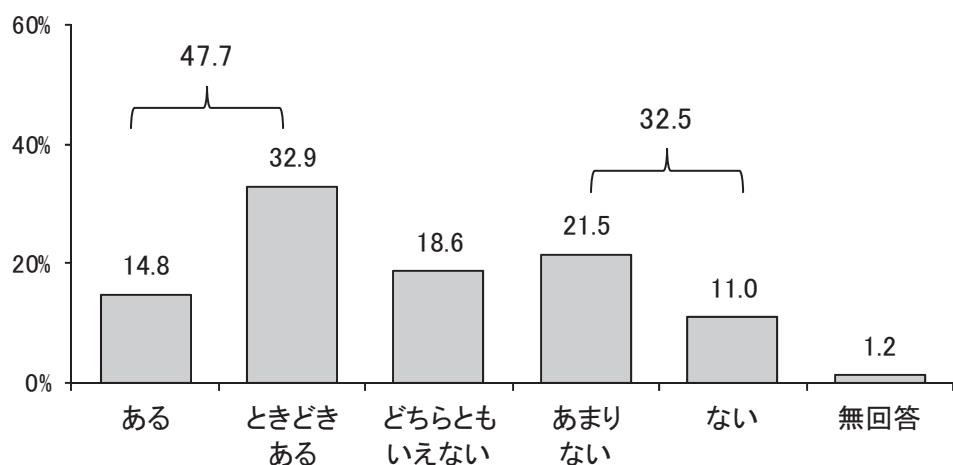
※網掛けは全体を上回る数値である。

## (8)手助けをする・困りごとの相談にのること

問10 あなたは、困っている人に手助けをしたり、困りごとの相談にのることがありますか。  
(1つに○)

- 手助けをする・困りごとの相談にのることは、「ある」14.8%、「ときどきある」32.9%、「どちらともいえない」18.6%、「あまりない」21.5%、「ない」11.0%であり、最も高い割合は「ときどきある」である。
- 『ある』(「ある」+「ときどきある」)は47.7%、『ない』(「あまりない」+「ない」)は32.5%であり、『ある』が『ない』を上回った。

図表31 手助けをする・困りごとの相談にのること(単数回答) n=1,520



- 手助けをする・困りごとの相談にのることについて『ない』が『ある』を上回ったのは(次ページ参照)、対象分類別では重点見守り世帯、年齢別では80代以上である。

図表32 手助けをする・困りごとの相談にのること(単数回答)

		合計 (人)	ある	ときどきある	どちらともいえない	あまりない	ない	無回答	『ある』	『ない』
全体		1,520	14.8	32.9	18.6	21.5	11.0	1.2	47.7	32.5
居住市町村	沿岸北部	124	10.5	36.3	22.6	21.0	6.5	3.2	46.8	27.5
	沿岸南部	1,231	16.0	32.8	18.1	21.4	10.9	0.8	48.8	32.3
	内陸	165	9.1	30.9	19.4	23.0	15.2	2.4	40.0	38.2
対象分類	重点見守り世帯	198	15.2	23.2	19.2	26.3	15.2	1.0	38.4	41.5
	通常見守り世帯	1,014	14.7	35.4	18.6	19.5	10.7	1.0	50.1	30.2
	不定期見守り世帯	308	14.9	30.8	18.2	25.0	9.1	1.9	45.7	34.1
年齢	20代	31	22.6	25.8	19.4	12.9	19.4	0.0	48.4	32.3
	30代	52	13.5	44.2	15.4	17.3	9.6	0.0	57.7	26.9
	40代	137	10.9	28.5	27.0	25.5	7.3	0.7	39.4	32.8
	50代	205	15.6	28.8	25.4	21.0	8.8	0.5	44.4	29.8
	60代	336	11.9	37.5	16.7	21.1	12.2	0.6	49.4	33.3
	70代	430	17.2	37.2	17.9	16.7	8.8	2.1	54.4	25.5
	80代以上	316	15.8	25.3	13.9	28.5	14.9	1.6	41.1	43.4
今の住まい	応急仮設住宅	617	13.1	35.0	18.2	21.2	11.5	1.0	48.1	32.7
	みなし仮設住宅	153	11.1	30.7	20.9	22.2	15.0	0.0	41.8	37.2
	災害公営住宅	265	17.4	32.1	18.5	20.8	10.2	1.1	49.5	31.0
	東日本大震災で被災した後に再建した住宅	294	19.7	28.6	18.7	25.2	6.5	1.4	48.3	31.7
	東日本大震災前と同じ住宅	104	13.5	33.7	24.0	13.5	13.5	1.9	47.2	27.0
	その他	61	13.1	34.4	9.8	23.0	16.4	3.3	47.5	39.4

※『ある』=「ある」+「ときどきある」

※『ない』=「あまりない」+「ない」

※居住市町村、対象分類、年齢、今の住まいの無回答は省略している。

※網掛けは全体を上回る数値である。

図表33 手助けをする・困りごとの相談にのること(単数回答)

		合計 (人)	ある	ときどきある	どちらともいえない	あまりない	ない	無回答	『ある』	『ない』
全体		1,520	14.8	32.9	18.6	21.5	11.0	1.2	47.7	32.5
受け ける 問 9 相 談 す る 困 り ご と く を 手 助 け を	ある	333	41.4	29.4	9.9	14.7	4.2	0.3	70.8	18.9
	ときどきある	507	8.5	54.4	18.5	14.2	3.6	0.8	62.9	17.8
	どちらともいえない	194	6.2	19.6	51.5	17.5	5.2	0.0	25.8	22.7
	あまりない	288	6.3	21.2	14.9	47.6	10.1	0.0	27.5	57.7
	ない	181	7.7	13.3	7.2	18.8	53.0	0.0	21.0	71.8

※『ある』=「ある」+「ときどきある」

※『ない』=「あまりない」+「ない」

※「問9 手助けを受ける・困りごとを相談すること」の無回答は省略している。

図表34 手助けをする・困りごとの相談にのること(単数回答)

		合計 (人)	ある	ときどきある	どちらともいえない	あまりない	ない	無回答	『ある』	『ない』	
問9 手助けを受ける・困りごとを相談すること	全体	617	13.1	35.0	18.2	21.2	11.5	1.0	48.1	32.7	
	応急仮設住宅	ある	92	42.4	33.7	9.8	9.8	4.3	0.0	76.1	14.1
		ときどきある	226	9.7	55.8	14.6	14.2	4.9	0.9	65.5	19.1
		どちらともいえない	88	4.5	20.5	52.3	19.3	3.4	0.0	25.0	22.7
		あまりない	122	6.6	23.0	16.4	46.7	7.4	0.0	29.6	54.1
		ない	82	9.8	13.4	4.9	18.3	53.7	0.0	23.2	72.0
	全体	153	11.1	30.7	20.9	22.2	15.0	0.0	41.8	37.2	
	みなし仮設住宅	ある	31	35.5	29.0	12.9	16.1	6.5	0.0	64.5	22.6
		ときどきある	55	1.8	58.2	29.1	10.9	0.0	0.0	60.0	10.9
		どちらともいえない	10	0.0	0.0	80.0	10.0	10.0	0.0	0.0	20.0
		あまりない	30	3.3	10.0	6.7	50.0	30.0	0.0	13.3	80.0
		ない	27	14.8	11.1	7.4	25.9	40.7	0.0	25.9	66.6
	全体	265	17.4	32.1	18.5	20.8	10.2	1.1	49.5	31.0	
災害公営住宅	ある	71	47.9	25.4	7.0	16.9	2.8	0.0	73.3	19.7	
	ときどきある	84	9.5	46.4	28.6	13.1	2.4	0.0	55.9	15.5	
	どちらともいえない	31	6.5	25.8	41.9	16.1	9.7	0.0	32.3	25.8	
	あまりない	52	3.8	28.8	13.5	46.2	7.7	0.0	32.6	53.9	
	ない	24	0.0	20.8	0.0	12.5	66.7	0.0	20.8	79.2	
	全体	294	19.7	28.6	18.7	25.2	6.5	1.4	48.3	31.7	
東日本大震災で被災した後に再建した住宅	ある	94	39.4	26.6	10.6	20.2	2.1	1.1	66.0	22.3	
	ときどきある	82	11.0	52.4	12.2	18.3	3.7	2.4	63.4	22.0	
	どちらともいえない	38	10.5	15.8	52.6	21.1	0.0	0.0	26.3	21.1	
	あまりない	52	11.5	13.5	21.2	48.1	5.8	0.0	25.0	53.9	
	ない	27	7.4	11.1	14.8	25.9	40.7	0.0	18.5	66.6	

※『ある』=「ある」+「ときどきある」

※『ない』=「あまりない」+「ない」

※「問9 手助けを受ける・困りごとを相談すること」「問24 今の住まい」の無回答は省略している。

図表35 手助けをする・困りごとの相談にのること(単数回答)

		合計 (人)	ある	ときどきある	どちらとも いえない	あまりない	ない	無回答	『ある』	『ない』	
問9 手助けを受ける・困りごとを相談すること	全体		104	13.5	33.7	24.0	13.5	13.5	1.9	47.2	27.0
	東日本大震災前 と同じ住宅	ある	23	52.2	26.1	8.7	8.7	4.3	0.0	78.3	13.0
		ときどきある	38	2.6	60.5	26.3	7.9	2.6	0.0	63.1	10.5
		どちらともいえない	15	6.7	20.0	60.0	6.7	6.7	0.0	26.7	13.4
		あまりない	14	0.0	21.4	14.3	50.0	14.3	0.0	21.4	64.3
		ない	12	0.0	0.0	16.7	8.3	75.0	0.0	0.0	83.3
	全体		61	13.1	34.4	9.8	23.0	16.4	3.3	47.5	39.4
	その他	ある	15	26.7	40.0	6.7	13.3	13.3	0.0	66.7	26.6
		ときどきある	15	13.3	60.0	6.7	13.3	6.7	0.0	73.3	20.0
		どちらともいえない	10	10.0	20.0	40.0	20.0	10.0	0.0	30.0	30.0
		あまりない	13	7.7	15.4	0.0	61.5	15.4	0.0	23.1	76.9
		ない	6	0.0	33.3	0.0	0.0	66.7	0.0	33.3	66.7

※『ある』=「ある」+「ときどきある」

※『ない』=「あまりない」+「ない」

※「問9 手助けを受ける・困りごとを相談すること」「問24 今の住まい」の無回答は省略している。

図表36 手助けをする・困りごとの相談にのること(単数回答)

		合計 (人)	ある	ときどきある	どちらともいえ	あまりない	ない	無回答	『ある』	『ない』
問9 手助けを受ける・困りごとを相談すること	全体	198	15.2	23.2	19.2	26.3	15.2	1.0	38.4	41.5
	重点見守り世帯	ある	52	38.5	23.1	13.5	25.0	0.0	61.6	25.0
		ときどきある	55	7.3	38.2	27.3	20.0	5.5	1.8	45.5
		どちらともいえない	24	8.3	16.7	41.7	16.7	16.7	0.0	25.0
		あまりない	41	7.3	17.1	9.8	51.2	14.6	0.0	24.4
		ない	24	4.2	8.3	8.3	8.3	70.8	0.0	12.5
	通常見守り世帯	全体	1,014	14.7	35.4	18.6	19.5	10.7	1.0	50.1
		ある	202	42.1	30.7	9.4	12.4	5.4	0.0	72.8
		ときどきある	370	9.2	56.5	17.3	13.0	3.2	0.8	65.7
		どちらともいえない	132	6.1	20.5	53.0	18.2	2.3	0.0	26.6
	不定期見守り世帯	全体	308	14.9	30.8	18.2	25.0	9.1	1.9	45.7
		ある	79	41.8	30.4	8.9	13.9	3.8	1.3	72.2
		ときどきある	82	6.1	56.1	18.3	15.9	3.7	0.0	62.2
		どちらともいえない	38	5.3	18.4	52.6	15.8	7.9	0.0	23.7
		あまりない	67	6.0	19.4	14.9	52.2	7.5	0.0	25.4
		ない	37	5.4	13.5	10.8	32.4	37.8	0.0	18.9

※『ある』=「ある」+「ときどきある」

※『ない』=「あまりない」+「ない」

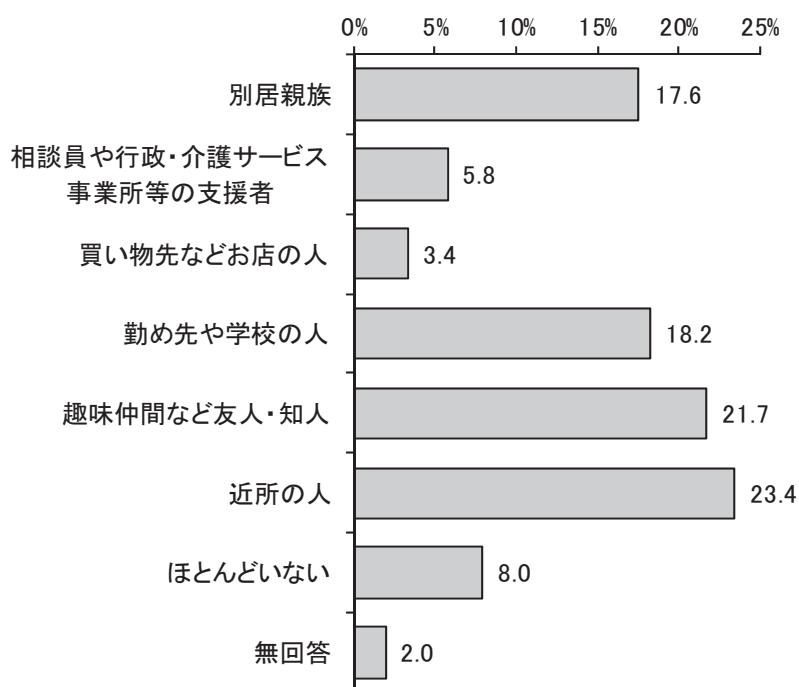
※「問9 手助けを受ける・困りごとを相談すること」「対象分類」の無回答は省略している。

## (9)最もたくさん顔を合わせて話をする人、話の頻度

- 問11 あなたが、ふだん、最もたくさん顔を合わせて話をする人(同居の人を除きます)は誰ですか。最も多い人を選び、1つだけ○をつけてください。(1つに○)  
問12 あなたは、問11で選んだ人とは、どのくらいの頻度で話をしますか。

- 最もたくさん顔を合わせて話をする人は、「近所の人」23.4%、「趣味仲間など友人・知人」21.7%、「勤め先や学校の人」18.2%、「別居親族」17.6%の順となっており、「ほとんどいない」は8.0%である。

図表37 最もたくさん顔を合わせて話をする人(単数回答) n=1,520



- 最もたくさん顔を合わせて話をする人として「近所の人」を第一位にあげたのは(次ページ参照)、居住市町村別では沿岸南部、対象分類別では重点見守り世帯、通常見守り世帯、性別では女性、年齢別では70代以上、今の住まい別では応急仮設住宅・災害公営住宅・東日本大震災前と同じ住宅居住者である。
- 「趣味仲間など友人・知人」を第一位にあげたのは、居住市町村別では内陸、年齢別では60代である。
- 「勤め先や学校の人」を第一位にあげたのは、居住市町村別では沿岸北部、対象分類別では不定期見守り世帯、性別では男性、年齢別では20~50代である。
- みなしふ設住宅居住者は、別居親族を第一位にあげている。
- 「相談員や行政・介護サービス事業所等の支援者」の割合が高かったのは、重点見守り世帯や80代以上である。

図表38 最もたくさん顔を合わせて話をする人(単数回答)

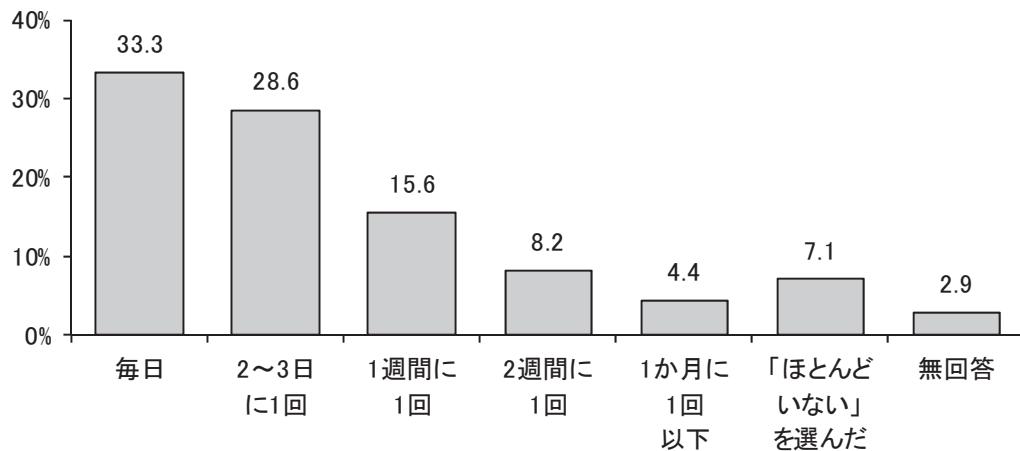
		合計 (人)	別居 親族	ビ ス 事 業 所 等 の 支 援 者	相 談 員 や 行 政 ・ 介 護 サ ー	買 い 物 先 な ど お 店 の 人	勤 め 先 や 学 校 の 人	趣味 仲間 な ど 友 人 ・ 知 人	近 所 の 人	ほと んど い ない	無 回答
全体		1,520	17.6	5.8	3.4	18.2	21.7	23.4	8.0	2.0	
居住市町村	沿岸北部	124	21.0	0.8	0.0	①25.0	21.8	23.4	5.6	2.4	
	沿岸南部	1,231	17.5	6.2	3.6	17.3	21.5	①24.8	7.1	1.9	
	内陸	165	15.2	6.7	4.2	20.0	①23.0	13.3	15.8	1.8	
対象分類	重点見守り世帯	198	16.2	14.1	5.6	7.6	17.2	①24.7	12.6	2.0	
	通常見守り世帯	1,014	18.1	5.4	3.1	17.9	22.7	①22.9	8.1	1.8	
	不定期見守り世帯	308	16.6	1.6	2.9	①26.0	21.4	24.4	4.5	2.6	
性別	男	608	13.8	6.1	3.5	①24.7	21.5	17.1	12.0	1.3	
	女	894	20.0	5.7	3.2	14.1	21.9	①27.5	5.3	2.2	
年齢	20代	31	3.2	3.2	3.2	①45.2	29.0	3.2	12.9	0.0	
	30代	52	19.2	0.0	5.8	①55.8	5.8	7.7	5.8	0.0	
	40代	137	9.5	0.7	4.4	①54.0	11.7	7.3	11.7	0.7	
	50代	205	15.1	2.9	1.0	①44.4	17.6	11.2	7.8	0.0	
	60代	336	21.4	3.6	4.2	16.4	①23.5	19.9	9.5	1.5	
	70代	430	14.7	6.7	3.5	2.6	29.5	①34.4	5.6	3.0	
	80代以上	316	23.1	12.3	2.8	0.3	19.0	①30.7	8.2	3.5	
今 の 住 ま い	応急仮設住宅	617	17.0	6.2	2.3	18.2	21.2	①25.0	8.3	1.9	
	みなし仮設住宅	153	①20.3	5.9	7.8	19.0	14.4	13.7	18.3	0.7	
	災害公営住宅	265	20.8	7.5	4.2	15.1	19.6	①23.0	7.2	2.6	
	東日本大震災で被災し た後に再建した住宅	294	14.3	3.7	2.4	22.1	①29.6	22.8	4.8	0.3	
	東日本大震災前と同じ 住宅	104	20.2	4.8	2.9	10.6	22.1	①34.6	1.9	2.9	
	その他	61	13.1	8.2	4.9	①29.5	18.0	13.1	9.8	3.3	

※居住市町村、対象分類、性別、年齢、今の住まいの無回答は省略している。

※①は説明変数別にみた第一位の数値である。

- 最もたくさん顔を合わせて話をする人との話の頻度は、「毎日」33.3%、「2~3日間に1回」28.6%、「1週間に1回」15.6%、「2週間に1回」8.2%、「1か月に1回以下」4.4%となっている。

図表39 話の頻度(単数回答) n=1,520



図表40 話の頻度(単数回答)

		合計(人)	毎日	2~3日に1回	1週間に1回	2週間に1回	1か月に1回以下	「ほとんどいない」を選んだ	無回答
全体		1,520	33.3	28.6	15.6	8.2	4.4	7.1	2.9
居住市町村	沿岸北部	124	30.6	31.5	19.4	6.5	2.4	4.8	4.8
	沿岸南部	1,231	34.8	29.0	15.1	7.7	4.6	6.1	2.7
	内陸	165	24.2	23.0	16.4	12.7	4.2	16.4	3.0
対象分類	重点見守り世帯	198	24.7	29.3	17.2	8.6	6.1	10.6	3.5
	通常見守り世帯	1,014	33.6	29.3	15.2	7.5	4.5	7.2	2.7
	不定期見守り世帯	308	37.7	25.6	15.9	10.1	2.9	4.5	3.2
今 の 住 ま い	応急仮設住宅	617	36.0	29.2	15.2	6.3	3.6	7.0	2.8
	みなし仮設住宅	153	29.4	25.5	11.8	6.5	7.2	18.3	1.3
	災害公営住宅	265	29.8	28.7	16.2	8.7	7.9	5.7	3.0
	東日本大震災で被災した後に再建した住宅	294	33.0	30.3	19.0	8.8	2.4	4.4	2.0
	東日本大震災前と同じ住宅	104	28.8	27.9	17.3	14.4	4.8	1.0	5.8
	その他	61	36.1	24.6	9.8	14.8	1.6	9.8	3.3

※居住市町村、対象分類、今のお住まいの無回答は省略している。

図表41 話の頻度(単数回答)

		合計 (人)	毎日	2 ～ 3 日 に 1 回	1 週 間 に 1 回	2 週 間 に 1 回	1 か 月 に 1 回 以 下	「 ほ と ん ど い な い 」 を 選 ん だ 」	無回答
全体		1,520	33.3	28.6	15.6	8.2	4.4	7.1	2.9
問 11 「 最 も た く さ ん 顔 を 合 わ せ て 話 を す る 人 」	別居親族	267	28.8	31.5	21.3	10.5	6.7	0.4	0.7
	相談員や行政・介護サービス事業所等の支援者	88	19.3	22.7	18.2	22.7	14.8	0.0	2.3
	買い物先などお店の人	51	27.5	23.5	27.5	7.8	7.8	2.0	3.9
	勤め先や学校の人	277	76.2	19.1	2.2	0.7	0.4	0.4	1.1
	趣味仲間など友人・知人	330	17.9	37.3	25.8	14.5	4.2	0.0	0.3
	近所の人	356	34.6	38.8	16.0	5.9	2.2	0.3	2.2
	ほとんどいない	121	0.8	1.7	0.8	0.8	6.6	86.0	3.3

※「問11 最もたくさん顔を合わせて話をする人」の無回答は省略している。

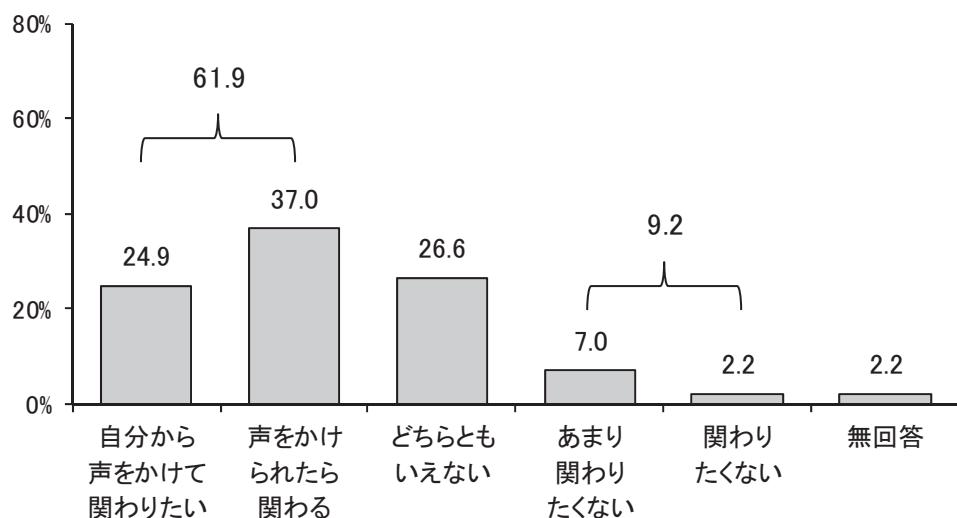
## (10)ご近所や周辺の地域の方との関わり

問13 あなたは、ご近所や周辺の地域の方と、どのように関わりを持ちたいですか。

(1つに○)

- ・ ご近所や周辺の地域の方との関わりは、「自分から声をかけて関わりたい」 24.9%、「声をかけられたら関わる」 37.0%、「どちらともいえない」 26.6%、「あまり関わりたくない」 7.0%、「関わりたくない」 2.2%であり、最も高い割合は「声をかけられたら関わる」である。
- ・ 『関わりたい』(「自分から声をかけて関わりたい」 + 「声をかけられたら関わる」)は 61.9%であり、『関わりたくない』(「あまり関わりたくない」 + 「関わりたくない」)の 9.2%を上回っている。

図表42 ご近所や周辺の地域の方との関わり(単数回答) n=1,520



- ・ ご近所や周辺の地域の方との関わりについては(次ページ参照)、居住市町村別、対象分類別、家族状況別、今の住まい別のいずれにおいても、「声をかけられたら関わる」が第一位となっている。
- ・ 第二位に「自分から声をかけて関わりたい」をあげたのは、居住市町村別では沿岸北部、対象分類別では重点見守り世帯・不定期見守り世帯、家族状況別では1人暮らし、今の住まい別では東日本大震災で被災した後に再建した住宅・東日本大震災前と同じ住宅居住者である。
- ・ 第二位に「どちらともいえない」をあげたのは、居住市町村別では沿岸南部・内陸、対象分類別では通常見守り世帯、家族状況別では2人以上の世帯、今の住まい別で

は応急仮設住宅、みなし仮設住宅、災害公営住宅である。

- ・『関わりたくない』が1割を超えたのは、居住市町村別では内陸、家族状況別では3人暮らし、今の住まい別では応急仮設住宅・みなし仮設住宅居住者である。

図表43 ご近所や周辺の地域の方との関わり(単数回答)

		合計 (人)	自分から声をかけて 関わりたい	声をかけられたら 関わる	どちらともいえない	あまり関わりたくない	関わりたくない	無回答	『関わりたい』	『関わりたくない』
全体		1,520	24.9	37.0	26.6	7.0	2.2	2.2	61.9	9.2
居住市町村	沿岸北部	124	②25.8	①48.4	19.4	2.4	0.8	3.2	74.2	3.2
	沿岸南部	1,231	26.3	①35.9	②26.4	7.2	2.1	2.0	62.2	9.3
	内陸	165	13.9	①37.0	②33.3	9.1	3.6	3.0	50.9	12.7
対象分類	重点見守り世帯	198	②26.8	①36.4	25.8	6.1	2.5	2.5	63.2	8.6
	通常見守り世帯	1,014	24.1	①36.3	②28.3	6.9	2.5	2.0	60.4	9.4
	不定期見守り世帯	308	②26.6	①39.9	21.4	8.1	1.0	2.9	66.5	9.1
家族状況	1人暮らし	371	②30.5	①34.5	23.5	6.2	2.4	3.0	65.0	8.6
	2人暮らし	627	25.7	①37.2	②26.0	7.0	1.9	2.2	62.9	8.9
	3人暮らし	267	20.6	①40.1	②27.3	7.5	3.7	0.7	60.7	11.2
	4人以上	238	19.3	①38.2	②31.1	7.6	0.8	2.9	57.5	8.4
今の住まい	応急仮設住宅	617	25.8	①34.2	②27.9	7.1	3.2	1.8	60.0	10.3
	みなし仮設住宅	153	17.0	①36.6	②34.0	7.8	3.9	0.7	53.6	11.7
	災害公営住宅	265	23.4	①36.2	②28.7	7.5	1.1	3.0	59.6	8.6
	東日本大震災で被災した後に再建した住宅	294	②30.3	①40.8	20.7	6.1	0.7	1.4	71.1	6.8
	東日本大震災前と同じ住宅	104	②24.0	①48.1	21.2	1.0	1.9	3.8	72.1	2.9
	その他	61	16.4	①41.0	②23.0	16.4	0.0	3.3	57.4	16.4

※『関わりたい』 = 「自分から声をかけて関わりたい」 + 「声をかけられたら関わる」

※『関わりたくない』 = 「あまり関わりたくない」 + 「関わりたくない」

※居住市町村、対象分類、家族状況、今の住まいの無回答は省略している。

※①は説明変数別にみた第一位の数値、②は第二位の数値である。

※網掛けは全体を上回る数値である。

図表44 ご近所や周辺の地域の方との関わり(単数回答)

		合計 (人)	自分から声をかけて 関わりたい	声をかけられたら 関わる	どちらともいえない	あまり関わりたくない	関わりたくない	無回答	『関わりたい』	『関わりたくない』
全体		1,520	24.9	37.0	26.6	7.0	2.2	2.2	61.9	9.2
相談員の活動 実施してほしい生活支援して 18	1つに○	451	23.7	41.2	25.5	6.4	1.3	1.8	64.9	7.7
	2つに○	276	31.2	35.5	26.8	3.3	1.4	1.8	66.7	4.7
	3つに○	163	35.0	36.2	19.6	5.5	1.2	2.5	71.2	6.7
	4つに○	185	34.1	38.9	22.7	2.7	1.6	0.0	73.0	4.3

※『関わりたい』=「自分から声をかけて関わりたい」+「声をかけられたら関わる」

※『関わりたくない』=「あまり関わりたくない」+「関わりたくない」

※「問18 実施してほしい生活支援相談員の活動」の無回答は省略している。

※問18の複数回答において、いくつ○があったかを再集計した結果である。

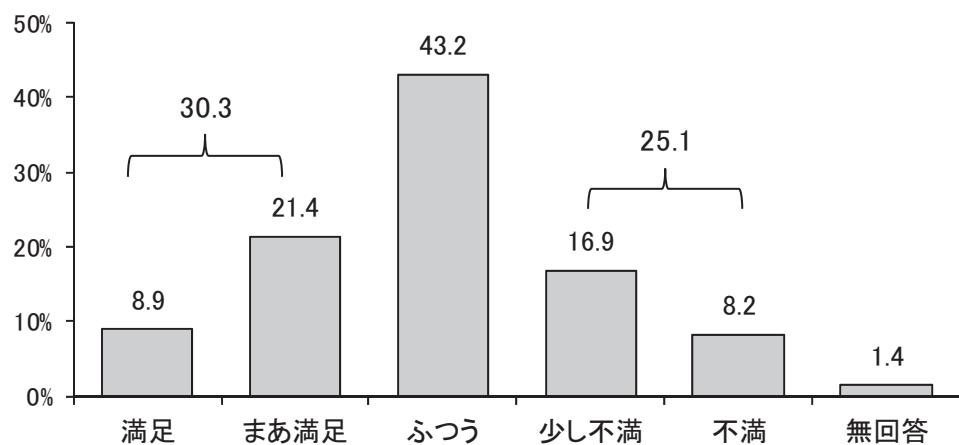
## (11) 今の暮らしの満足度・将来の暮らし

問14 あなたは、今の暮らしに満足していますか。(1つに○)

問15 あなたは、将来(だいたい5年後)、今の暮らしが良くなると思いますか。(1つに○)

- 今の暮らしの満足度は、「満足」8.9%、「まあ満足」21.4%、「ふつう」43.2%、「少し不満」16.9%、「不満」8.2%であり、最も高い割合は「ふつう」である。
- 『満足』(「満足」+「まあ満足」)は30.3%、『不満』(「少し不満」+「不満」)は25.1%となっている。

図表45 今の暮らしの満足度(単数回答) n=1,520



- 今の暮らしの満足度について、『不満』が『満足』を上回ったのは(次ページ参照)、年齢別では40~50代、今の住まい別では応急仮設住宅・みなし仮設住宅居住者である。
- また、20~50代、応急仮設住宅・みなし仮設住宅居住者については、「不満」が1割を超える結果となった。

図表46 今の暮らしの満足度(単数回答)

		合計 (人)	満足	まあ満足	ふつう	少し不満	不満	無回答	『満足』	『不満』
全体		1,520	8.9	21.4	43.2	16.9	8.2	1.4	30.3	25.1
居住市町村	沿岸北部	124	8.9	23.4	50.0	12.9	3.2	1.6	32.3	16.1
	沿岸南部	1,231	8.7	20.9	42.2	18.3	8.6	1.3	29.6	26.9
	内陸	165	10.3	23.6	44.8	9.7	9.1	2.4	33.9	18.8
対象分類	重点見守り世帯	198	13.6	17.2	42.4	17.7	8.1	1.0	30.8	25.8
	通常見守り世帯	1,014	7.6	20.2	43.6	18.0	9.3	1.3	27.8	27.3
	不定期見守り世帯	308	10.1	27.9	42.2	12.7	4.9	2.3	38.0	17.6
年齢	20代	31	12.9	22.6	41.9	6.5	16.1	0.0	35.5	22.6
	30代	52	9.6	23.1	40.4	11.5	15.4	0.0	32.7	26.9
	40代	137	4.4	16.8	44.5	21.9	11.7	0.7	21.2	33.6
	50代	205	4.9	22.4	40.5	20.5	11.7	0.0	27.3	32.2
	60代	336	8.0	19.3	43.8	18.5	9.2	1.2	27.3	27.7
	70代	430	10.9	19.1	44.0	17.4	6.5	2.1	30.0	23.9
	80代以上	316	11.1	26.9	42.7	12.7	4.1	2.5	38.0	16.8
今の住まい	応急仮設住宅	617	4.9	15.1	44.1	21.6	12.8	1.6	20.0	34.4
	みなし仮設住宅	153	7.8	19.0	45.1	17.6	10.5	0.0	26.8	28.1
	災害公営住宅	265	9.4	24.2	44.5	16.2	3.8	1.9	33.6	20.0
	東日本大震災で被災した後に再建した住宅	294	15.0	34.0	37.1	10.2	3.4	0.3	49.0	13.6
	東日本大震災前と同じ住宅	104	11.5	17.3	51.9	13.5	2.9	2.9	28.8	16.4
	その他	61	14.8	21.3	36.1	13.1	11.5	3.3	36.1	24.6

※『満足』 = 「満足」 + 「まあ満足」

※『不満』 = 「少し不満」 + 「不満」

※居住市町村、対象分類、年齢、今の住まいの無回答は省略している。

※網掛けは全体を上回る数値である。

図表47 今の暮らしの満足度(単数回答)

		合計 (人)	満足	まあ満足	ふつう	少し不満	不満	無回答	『満足』	『不満』
全体		1,520	8.9	21.4	43.2	16.9	8.2	1.4	30.3	25.1
問13 ご近所や周辺の地域の方との関わり	自分から声をかけて関わりたい	379	15.8	36.7	33.2	10.0	3.4	0.8	52.5	13.4
	声をかけられたら関わる	563	9.1	22.6	46.0	16.0	5.7	0.7	31.7	21.7
	どちらともいえない	404	4.5	11.1	52.7	21.3	10.1	0.2	15.6	31.4
	あまり関わりたくない	107	4.7	8.4	34.6	28.0	22.4	1.9	13.1	50.4
	関わりたくない	33	3.0	0.0	30.3	27.3	39.4	0.0	3.0	66.7

※『満足』 = 「満足」 + 「まあ満足」

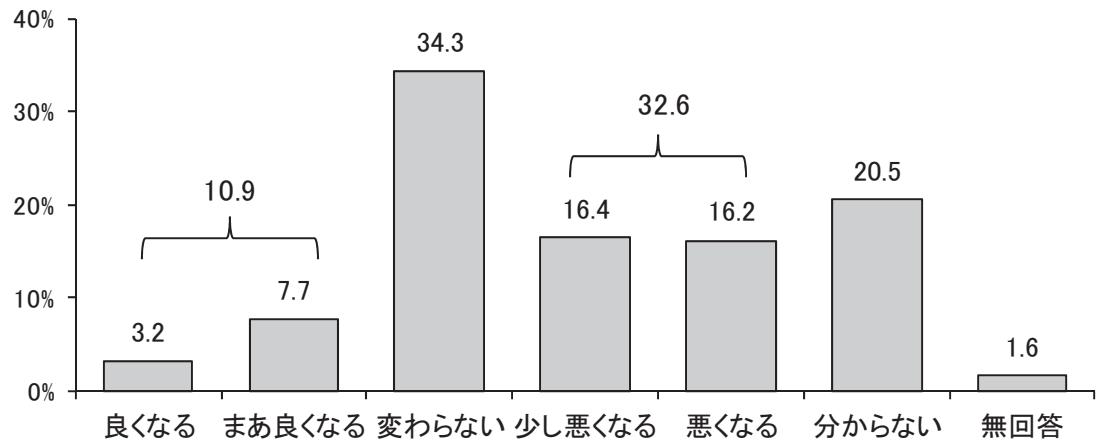
※『不満』 = 「少し不満」 + 「不満」

※「問13 ご近所や周辺の地域の方との関わり」の無回答は省略している。

「将来の暮らしは、良くなる」3.2%、「まあ良くなる」7.7%、「変わらない」34.3%、「少し悪くなる」16.4%、「悪くなる」16.2%であり、最も高い割合は「変わらない」である。

『良くなる』（「良くなる」+「まあ良くなる」）は10.9%、『悪くなる』（「少し悪くなる」+「悪くなる」）は32.6%であり、『悪くなる』が『良くなる』を上回った。

図表48 将来の暮らし(単数回答) n=1,520



- 将来の暮らしについて、『悪くなる』の割合が高いのは、年齢別では60代、家族形態別では3人暮らしなどとなっている。

図表49 将来の暮らし(単数回答)

		合計 (人)	良 く なる	ま あ 良 く なる	変 わ ら い	少 し 悪 く なる	悪 く なる	分 か ら い	無 回 答	『良 く なる』	『悪 く なる』
全体		1,520	3.2	7.7	34.3	16.4	16.2	20.5	1.6	10.9	32.6
居住市町村	沿岸北部	124	0.8	3.2	35.5	16.9	21.0	20.2	2.4	4.0	37.9
	沿岸南部	1,231	3.3	8.7	34.8	17.0	14.8	19.9	1.5	12.0	31.8
	内陸	165	3.6	3.6	29.7	12.1	23.0	25.5	2.4	7.2	35.1
対象分類	重点見守り世帯	198	3.5	7.6	33.3	16.7	11.6	24.7	2.5	11.1	28.3
	通常見守り世帯	1,014	3.4	8.2	32.7	15.1	17.9	21.3	1.5	11.6	33.0
	不定期見守り世帯	308	2.3	6.2	40.3	20.8	13.6	15.3	1.6	8.5	34.4
年齢	20代	31	0.0	22.6	35.5	6.5	19.4	16.1	0.0	22.6	25.9
	30代	52	1.9	11.5	36.5	3.8	11.5	34.6	0.0	13.4	15.3
	40代	137	4.4	7.3	31.4	12.4	17.5	25.5	1.5	11.7	29.9
	50代	205	5.4	11.7	30.7	17.1	19.0	16.1	0.0	17.1	36.1
	60代	336	2.1	5.4	27.7	20.5	21.4	21.1	1.8	7.5	41.9
	70代	430	2.6	6.5	36.7	17.7	15.3	19.3	1.9	9.1	33.0
	80代以上	316	3.8	7.6	41.5	14.6	10.1	19.6	2.8	11.4	24.7
家族状況	1人暮らし	371	3.2	4.9	39.6	14.6	13.5	22.1	2.2	8.1	28.1
	2人暮らし	627	2.6	8.6	30.9	17.4	18.5	20.6	1.4	11.2	35.9
	3人暮らし	267	4.1	7.9	29.2	21.3	19.1	16.9	1.5	12.0	40.4
	4人以上	238	3.8	9.7	39.5	11.8	11.8	21.8	1.7	13.5	23.6
介護等の必要性	18歳以下の子どもを1人で育てている	15	6.7	6.7	26.7	26.7	13.3	20.0	0.0	13.4	40.0
	自分または同居人の中に障がい者手帳を持っている人がいる	172	3.5	5.8	39.0	18.0	8.7	22.1	2.9	9.3	26.7
	自分または同居人の中に要介護1~5(要支援1・2を除く)の人がいる	143	0.7	4.2	28.7	18.2	21.7	22.4	4.2	4.9	39.9
	いずれもあてはまらない	1,135	3.4	8.0	34.5	16.4	16.8	19.9	0.9	11.4	33.2
今の住まい	応急仮設住宅	617	3.7	10.9	27.6	15.1	16.7	24.6	1.5	14.6	31.8
	みなし仮設住宅	153	2.0	7.2	28.1	18.3	19.6	24.2	0.7	9.2	37.9
	災害公営住宅	265	3.0	3.8	41.1	16.6	17.4	15.5	2.6	6.8	34.0
	東日本大震災で被災した後に再建した住宅	294	3.7	7.5	40.5	19.4	15.0	13.9	0.0	11.2	34.4
	東日本大震災前と同じ住宅	104	1.0	2.9	47.1	15.4	10.6	19.2	3.8	3.9	26.0
	その他	61	3.3	6.6	32.8	14.8	14.8	24.6	3.3	9.9	29.6

※『良くなる』=「良くなる」+「まあ良くなる」、※『悪くなる』=「少し悪くなる」+「悪くなる」

※居住市町村、対象分類、年齢、家族状況、同居者における介護等の必要性、今の住まいの無回答は省略している。

※「同居者における介護等の必要性」は複数回答である。

※網掛けは全体を上回る数値である。

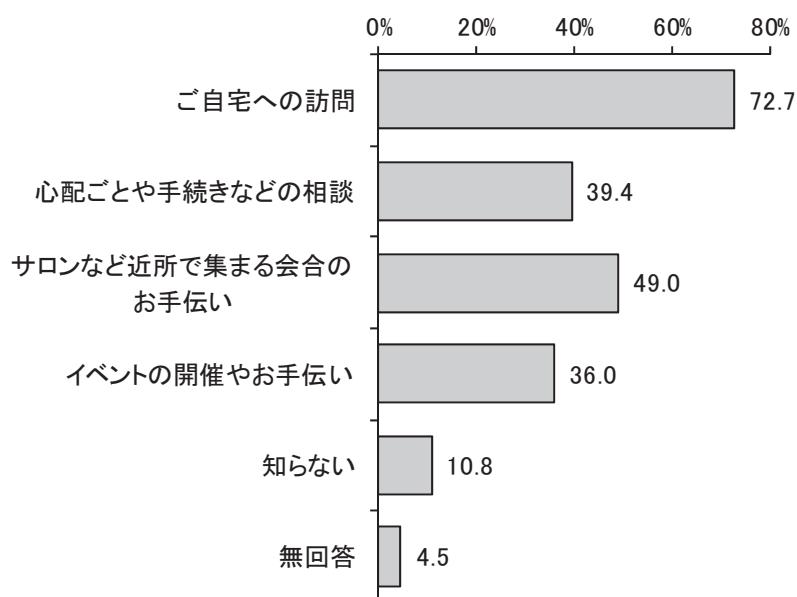
### 3. 社会福祉協議会の生活支援相談員の活動について

#### (1)生活支援相談員の活動の認知

問16 あなたは、生活支援相談員が被災者のための活動をしていることをご存知ですか。生活支援相談員の活動について、知っているものすべてに○をつけてください。

- ・生活支援相談員の活動の認知は、「ご自宅への訪問」72.7%が最も高く、次いで「サロンなど近所で集まる会合のお手伝い」49.0%、「心配ごとや手続きなどの相談」39.4%、「イベントの開催やお手伝い」36.0%などとなっている。
- ・「知らない」は10.8%である。

図表50 生活支援相談員の活動の認知(複数回答) n=1,520



- ・生活支援相談員の活動の認知については（次ページ参照）、居住市町村別、対象分類別、性別、年齢別、家族状況別、今の住まい別のいずれにおいても、「ご自宅への訪問」の認知度が最も高い。
- ・『生活支援相談員の活動を認知している』割合が高いのは、居住市町村別では沿岸南部・内陸、対象分類別では重点見守り世帯・通常見守り世帯、性別では女性、年齢別では40代・60代以上、家族状況別では1人あるいは2人暮らし、今の住まい別では応急仮設住宅・災害公営住宅居住者となっている。
- ・『生活支援相談員の活動を認知している』は、災害公営住宅居住者では9割を超える結果となった。

図表51 生活支援相談員の活動の認知(複数回答)

		合計 (人)	ご自宅への訪問	心配ごとや手続きなどの相談	サロンなど近所でまる会合のお手伝い集	イベントの開催やお手伝い	知らない	無回答	『生活支援相談員の活動を認知している』
全体		1,520	72.7	39.4	49.0	36.0	10.8	4.5	84.7
居住市町村	沿岸北部	124	①59.7	36.3	②49.2	33.1	16.1	6.5	77.4
	沿岸南部	1,231	①73.0	38.3	②49.3	35.3	10.8	4.1	85.1
	内陸	165	①80.0	②49.7	46.7	43.0	6.7	6.1	87.2
対象分類	重点見守り世帯	198	①79.3	38.4	②46.5	29.8	7.6	4.5	87.9
	通常見守り世帯	1,014	①74.6	38.9	②51.4	36.4	8.9	4.2	86.9
	不定期見守り世帯	308	①62.3	41.9	②42.9	38.6	19.2	5.2	75.6
性別	男	608	①68.1	36.0	②38.8	29.3	16.8	4.9	78.3
	女	894	①76.0	41.6	②56.2	40.6	6.8	3.9	89.3
年齢	20代	31	①54.8	②38.7	32.3	19.4	32.3	3.2	64.5
	30代	52	①65.4	32.7	②38.5	26.9	23.1	1.9	75.0
	40代	137	①75.2	46.0	②51.1	33.6	13.1	1.5	85.4
	50代	205	①71.7	40.5	②54.6	38.5	14.6	1.5	83.9
	60代	336	①73.5	38.1	②48.8	42.6	11.6	2.4	86.0
	70代	430	①72.1	39.3	②52.6	39.5	7.9	6.3	85.8
	80代以上	316	①74.7	37.7	②43.4	26.6	6.6	8.2	85.2
家族状況	1人暮らし	371	①81.4	40.7	②52.8	36.4	5.4	5.7	88.9
	2人暮らし	627	①71.8	39.4	②50.7	37.8	9.6	4.0	86.4
	3人暮らし	267	①73.0	41.2	②46.1	34.8	10.9	4.9	84.2
	4人以上	238	①60.9	34.9	②42.4	31.5	22.3	3.4	74.3
今 の 住 ま い	応急仮設住宅	617	①75.0	36.6	②51.7	33.7	9.6	4.2	86.2
	みなし仮設住宅	153	①78.4	②43.1	34.6	29.4	13.1	3.9	83.0
	災害公営住宅	265	①78.9	47.2	②62.3	50.2	4.2	4.5	91.3
	東日本大震災で被災した後に再建した住宅	294	①69.4	40.1	②46.3	35.7	12.9	3.1	84.0
	東日本大震災前と同じ住宅	104	①51.0	26.0	②35.6	24.0	24.0	6.7	69.3
	その他	61	①60.7	②39.3	②39.3	36.1	16.4	6.6	77.0

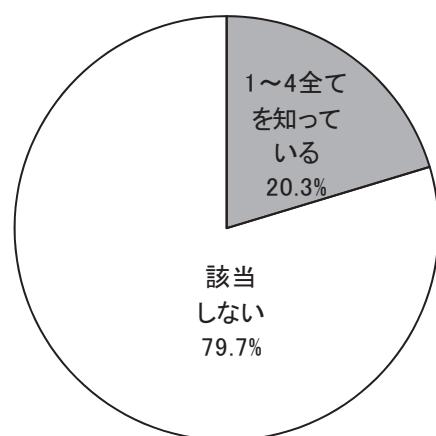
※居住市町村、対象分類、性別、年齢、家族状況、今のお住まいの無回答は省略している。

※①は説明変数別にみた第一位の数値、②は第二位の数値である。

※『生活支援相談員の活動を認知している』=100% - 「無回答」 - 「知らない」

※網掛けは全体を上回る数値である。

図表52 生活支援相談員の活動の認知(複数回答) n=1,520

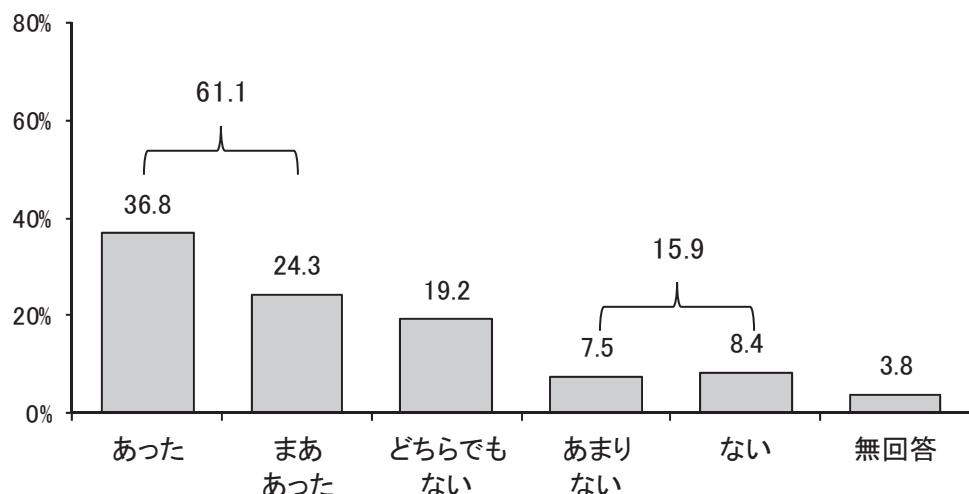


## (2)生活支援相談員の活動の評価

問17 あなたは、生活支援相談員による活動があつてよかったですと思うことがありましたか。  
(1つに○)

- 生活支援相談員の活動の評価として、あつてよかったですと思うことが「あつた」は 36.8%、「まああつた」 24.3%、「どちらでもない」 19.2%、「あまりない」 7.5%、「ない」 8.4%であり、最も高い割合は「あつた」である。
- 『あつた』（「あつた」 + 「まああつた」）は 61.1%であり、『ない』（「あまりない」 + 「ない」）の 15.9%を上回った。

図表53 生活支援相談員の活動の評価(単数回答) n=1,520



- 生活支援相談員の活動の評価は、年齢に違いがみられ（次ページ参照）、20代、30代では評価が低い。
- また、生活支援相談員の活動についてよかったですと思うことが『あつた』割合が高いのは、居住市町村別では内陸、対象分類別では重点見守り世帯・通常見守り世帯、性別では女性、年齢別では70代以上、家族状況別では1人あるいは2人暮らし、今の住まい別では災害公営住宅居住者となっている。

図表54 生活支援相談員の活動の評価(単数回答)

		合計 (人)	あつた	まああつた	どちらでもない	あまりない	ない	無回答	『あつた』	『ない』
全体		1,520	36.8	24.3	19.2	7.5	8.4	3.8	61.1	15.9
居住市町村	沿岸北部	124	①30.6	17.7	②25.0	5.6	14.5	6.5	48.3	20.1
	沿岸南部	1,231	①37.0	②24.6	19.1	7.6	8.4	3.3	61.6	16.0
	内陸	165	①40.0	②26.7	15.8	8.5	3.6	5.5	66.7	12.1
対象分類	重点見守り世帯	198	①52.0	②24.7	12.1	5.1	3.5	2.5	76.7	8.6
	通常見守り世帯	1,014	①37.1	②24.8	19.5	7.1	7.8	3.7	61.9	14.9
	不定期見守り世帯	308	①26.3	22.4	②22.7	10.4	13.3	4.9	48.7	23.7
性別	男	608	①28.1	②23.4	22.9	8.6	13.0	4.1	51.5	21.6
	女	894	①43.0	②24.6	16.6	6.9	5.4	3.6	67.6	12.3
年齢	20代	31	①29.0	9.7	19.4	9.7	①29.0	3.2	38.7	38.7
	30代	52	15.4	21.2	②25.0	9.6	①26.9	1.9	36.6	36.5
	40代	137	18.2	①28.5	②26.3	12.4	11.7	2.9	46.7	24.1
	50代	205	①30.2	22.4	②26.3	6.3	13.2	1.5	52.6	19.5
	60代	336	①32.1	②23.2	22.9	9.8	9.5	2.4	55.3	19.3
	70代	430	①41.9	②27.2	17.2	5.6	3.7	4.4	69.1	9.3
	80代以上	316	①51.9	②22.5	8.9	6.0	3.8	7.0	74.4	9.8
家族状況	1人暮らし	371	①51.8	②22.9	11.9	5.4	4.0	4.0	74.7	9.4
	2人暮らし	627	①37.2	②25.0	18.0	7.0	9.1	3.7	62.2	16.1
	3人暮らし	267	①29.2	②26.2	24.3	8.2	8.6	3.4	55.4	16.8
	4人以上	238	21.8	②22.3	①26.9	11.8	13.4	3.8	44.1	25.2
今 の 住 ま い	応急仮設住宅	617	①35.7	②24.8	21.4	6.5	9.1	2.6	60.5	15.6
	みなし仮設住宅	153	①36.6	②24.2	16.3	9.2	10.5	3.3	60.8	19.7
	災害公営住宅	265	①41.5	②30.6	13.6	6.0	4.2	4.2	72.1	10.2
	東日本大震災で被災した後に再建した住宅	294	①38.8	②21.1	17.7	7.8	9.5	5.1	59.9	17.3
	東日本大震災前と同じ住宅	104	①30.8	15.4	②26.0	9.6	12.5	5.8	46.2	22.1
	その他	61	①31.1	21.3	②26.2	13.1	4.9	3.3	52.4	18.0

※『あつた』=「あつた」+「まああつた」

※『ない』=「あまりない」+「ない」

※居住市町村、対象分類、性別、年齢、家族状況、今の住まいの無回答は省略している。

※①は説明変数別にみた第一位の数値、②は第二位の数値である。

※網掛けは全体を上回る数値である。

図表55 生活支援相談員の活動の評価(単数回答)

		合計 (人)	あつた	まああつた	どちらでもない	あまりない	ない	無回答	『あつた』	『ない』
問18 実施してほしい生活支援相談員の活動	全体	371	51.8	22.9	11.9	5.4	4.0	4.0	74.7	9.4
	ご自宅への訪問	209	68.9	23.0	4.3	1.0	1.4	1.4	91.9	2.4
	心配ごとや手続きなどの相談	178	65.7	21.3	6.7	3.4	0.6	2.2	87.0	4.0
	サロンなど近所で集まる会合のお手伝い	144	69.4	23.6	3.5	2.1	0.7	0.7	93.0	2.8
	イベントの開催やお手伝い	93	71.0	21.5	4.3	3.2	0.0	0.0	92.5	3.2
	とくにない	70	21.4	17.1	31.4	14.3	15.7	0.0	38.5	30.0
	全体	627	37.2	25.0	18.0	7.0	9.1	3.7	62.2	16.1
	ご自宅への訪問	281	60.1	24.6	7.8	4.6	1.4	1.4	84.7	6.0
	心配ごとや手続きなどの相談	297	46.1	31.6	13.1	4.4	2.7	2.0	77.7	7.1
	サロンなど近所で集まる会合のお手伝い	209	52.2	29.7	11.0	2.4	2.4	2.4	81.9	4.8
3人暮らし	イベントの開催やお手伝い	163	50.9	30.1	10.4	3.7	3.7	1.2	81.0	7.4
	とくにない	153	7.2	15.0	32.0	16.3	28.8	0.7	22.2	45.1
	全体	267	29.2	26.2	24.3	8.2	8.6	3.4	55.4	16.8
	ご自宅への訪問	100	51.0	31.0	10.0	3.0	3.0	2.0	82.0	6.0
	心配ごとや手続きなどの相談	109	38.5	35.8	19.3	3.7	1.8	0.9	74.3	5.5
4人暮らし以上	サロンなど近所で集まる会合のお手伝い	83	41.0	27.7	24.1	3.6	2.4	1.2	68.7	6.0
	イベントの開催やお手伝い	64	45.3	28.1	18.8	4.7	1.6	1.6	73.4	6.3
	とくにない	76	5.3	9.2	40.8	18.4	25.0	1.3	14.5	43.4
	全体	238	21.8	22.3	26.9	11.8	13.4	3.8	44.1	25.2
	ご自宅への訪問	65	36.9	27.7	21.5	9.2	4.6	0.0	64.6	13.8
家族	心配ごとや手続きなどの相談	90	34.4	28.9	20.0	8.9	7.8	0.0	63.3	16.7
	サロンなど近所で集まる会合のお手伝い	62	30.6	30.6	19.4	6.5	11.3	1.6	61.2	17.8
	イベントの開催やお手伝い	57	29.8	33.3	19.3	10.5	7.0	0.0	63.1	17.5
	とくにない	84	9.5	10.7	36.9	16.7	25.0	1.2	20.2	41.7

※『あつた』 = 「あつた」 + 「まああつた」

※『ない』 = 「あまりない」 + 「ない」

※「問18 実施してほしい生活支援相談員の活動」は複数回答である。

※「問18 実施してほしい生活支援相談員の活動」「家族」の無回答は省略している。

図表56 生活支援相談員の活動の評価(単数回答)

		人合計	あつた	まああつた	いでもどちら	ないあまり	ない	無回答	『あつた』	『ない』	
問24 今の住まい	1人暮らし	全体	371	51.8	22.9	11.9	5.4	4.0	4.0	74.7	9.4
	応急仮設住宅	148	47.3	24.3	13.5	6.1	6.1	2.7	71.6	12.2	
	みなし仮設住宅	35	62.9	28.6	2.9	2.9	0.0	2.9	91.5	2.9	
	災害公営住宅	115	47.8	25.2	13.0	7.0	2.6	4.3	73.0	9.6	
	東日本大震災で被災した後に再建した住宅	31	58.1	19.4	9.7	0.0	6.5	6.5	77.5	6.5	
	東日本大震災前と同じ住宅	26	69.2	7.7	15.4	0.0	3.8	3.8	76.9	3.8	
	その他	9	66.7	22.2	11.1	0.0	0.0	0.0	88.9	0.0	
	全体	627	37.2	25.0	18.0	7.0	9.1	3.7	62.2	16.1	
	2人暮らし	応急仮設住宅	279	38.0	24.0	20.4	6.5	7.9	3.2	62.0	14.4
	みなし仮設住宅	59	32.2	22.0	16.9	11.9	13.6	3.4	54.2	25.5	
	災害公営住宅	117	36.8	33.3	16.2	4.3	6.0	3.4	70.1	10.3	
	東日本大震災で被災した後に再建した住宅	104	44.2	22.1	9.6	9.6	8.7	5.8	66.3	18.3	
	東日本大震災前と同じ住宅	37	18.9	24.3	21.6	2.7	27.0	5.4	43.2	29.7	
	その他	27	37.0	18.5	33.3	7.4	3.7	0.0	55.5	11.1	
	全体	267	29.2	26.2	24.3	8.2	8.6	3.4	55.4	16.8	
	3人暮らし	応急仮設住宅	103	26.2	27.2	27.2	6.8	10.7	1.9	53.4	17.5
	みなし仮設住宅	35	31.4	28.6	17.1	5.7	11.4	5.7	60.0	17.1	
	災害公営住宅	18	27.8	38.9	11.1	11.1	5.6	5.6	66.7	16.7	
	東日本大震災で被災した後に再建した住宅	87	35.6	21.8	25.3	5.7	8.0	3.4	57.4	13.7	
	東日本大震災前と同じ住宅	15	20.0	13.3	33.3	26.7	0.0	6.7	33.3	26.7	
	その他	8	12.5	37.5	25.0	25.0	0.0	0.0	50.0	25.0	
	全体	238	21.8	22.3	26.9	11.8	13.4	3.8	44.1	25.2	
	4人暮らし以上	応急仮設住宅	84	19.0	26.2	29.8	7.1	16.7	1.2	45.2	23.8
	みなし仮設住宅	24	16.7	16.7	33.3	16.7	16.7	0.0	33.4	33.4	
	災害公営住宅	15	46.7	40.0	0.0	6.7	0.0	6.7	86.7	6.7	
	東日本大震災で被災した後に再建した住宅	72	26.4	19.4	23.6	11.1	13.9	5.6	45.8	25.0	
	東日本大震災前と同じ住宅	24	16.7	12.5	41.7	20.8	8.3	0.0	29.2	29.1	
	その他	17	11.8	17.6	23.5	23.5	11.8	11.8	29.4	35.3	

※『あつた』=『あつた』+『まああつた』

※『ない』=『あまりない』+『ない』

※「問24 今の住まい」「家族」の無回答は省略している。

図表57 生活支援相談員の活動の評価(単数回答)

		合計 (人)	あつた	まああつた	どちらでもない	あまりない	ない	無回答	『あつた』	『ない』
問1 1人暮らし 2人暮らし 3人暮らし 4人暮らし以上 体の調子	全体	371	51.8	22.9	11.9	5.4	4.0	4.0	74.7	9.4
	良い	49	77.6	10.2	2.0	4.1	2.0	4.1	87.8	6.1
	まあ良い	74	52.7	25.7	6.8	10.8	1.4	2.7	78.4	12.2
	ふつう	119	42.9	29.4	17.6	5.0	4.2	0.8	72.3	9.2
	少し悪い	103	50.5	20.4	13.6	1.9	6.8	6.8	70.9	8.7
	悪い	22	54.5	22.7	13.6	4.5	4.5	0.0	77.2	9.0
	全体	627	37.2	25.0	18.0	7.0	9.1	3.7	62.2	16.1
	良い	84	42.9	26.2	15.5	6.0	9.5	0.0	69.1	15.5
	まあ良い	93	41.9	30.1	14.0	3.2	9.7	1.1	72.0	12.9
	ふつう	253	36.0	22.9	19.0	6.3	11.9	4.0	58.9	18.2
	少し悪い	149	31.5	26.2	21.5	12.1	5.4	3.4	57.7	17.5
	悪い	42	45.2	21.4	16.7	4.8	4.8	7.1	66.6	9.6
	全体	267	29.2	26.2	24.3	8.2	8.6	3.4	55.4	16.8
	良い	34	44.1	14.7	20.6	5.9	8.8	5.9	58.8	14.7
	まあ良い	49	24.5	36.7	18.4	10.2	8.2	2.0	61.2	18.4
	ふつう	113	24.8	23.9	31.0	9.7	8.8	1.8	48.7	18.5
	少し悪い	57	31.6	29.8	21.1	5.3	8.8	3.5	61.4	14.1
	悪い	10	50.0	10.0	20.0	0.0	10.0	10.0	60.0	10.0
	全体	238	21.8	22.3	26.9	11.8	13.4	3.8	44.1	25.2
	良い	35	34.3	20.0	17.1	20.0	5.7	2.9	54.3	25.7
	まあ良い	39	20.5	20.5	33.3	12.8	12.8	0.0	41.0	25.6
	ふつう	96	20.8	22.9	29.2	8.3	16.7	2.1	43.7	25.0
	少し悪い	52	19.2	26.9	25.0	15.4	11.5	1.9	46.1	26.9
	悪い	11	18.2	18.2	27.3	0.0	27.3	9.1	36.4	27.3

※『あつた』 = 「あつた」 + 「まああつた」

※『ない』 = 「あまりない」 + 「ない」

※「問1 体の調子」「家族」の無回答は省略している。

図表58 生活支援相談員の活動の評価(単数回答)

		合計 (人)	あつた	まああつた	どちらでもない	あまりない	ない	無回答	『あつた』	『ない』
問3 楽しさや生きがい感	全体	371	51.8	22.9	11.9	5.4	4.0	4.0	74.7	9.4
	感じる	58	79.3	15.5	3.4	0.0	1.7	0.0	94.8	1.7
	まあ感じる	129	52.7	27.1	10.9	3.9	1.6	3.9	79.8	5.5
	どちらでもない	89	41.6	27.0	16.9	7.9	4.5	2.2	68.6	12.4
	あまり感じない	59	44.1	20.3	10.2	6.8	10.2	8.5	64.4	17.0
	感じない	29	41.4	13.8	24.1	13.8	6.9	0.0	55.2	20.7
	全体	627	37.2	25.0	18.0	7.0	9.1	3.7	62.2	16.1
	感じる	93	50.5	26.9	9.7	4.3	6.5	2.2	77.4	10.8
	まあ感じる	208	41.3	23.1	18.8	7.7	5.3	3.8	64.4	13.0
	どちらでもない	155	29.7	27.7	21.3	7.7	12.3	1.3	57.4	20.0
	あまり感じない	131	32.8	26.0	18.3	6.1	12.2	4.6	58.8	18.3
	感じない	27	29.6	18.5	22.2	11.1	18.5	0.0	48.1	29.6
1人暮らし	全体	267	29.2	26.2	24.3	8.2	8.6	3.4	55.4	16.8
	感じる	43	30.2	32.6	25.6	4.7	4.7	2.3	62.8	9.4
	まあ感じる	88	35.2	28.4	18.2	9.1	4.5	4.5	63.6	13.6
	どちらでもない	84	19.0	19.0	34.5	10.7	13.1	3.6	38.0	23.8
	あまり感じない	34	41.2	29.4	14.7	5.9	8.8	0.0	70.6	14.7
2人暮らし	感じない	12	25.0	25.0	16.7	8.3	25.0	0.0	50.0	33.3
	全体	238	21.8	22.3	26.9	11.8	13.4	3.8	44.1	25.2
	感じる	31	32.3	29.0	19.4	12.9	6.5	0.0	61.3	19.4
	まあ感じる	100	26.0	21.0	26.0	9.0	15.0	3.0	47.0	24.0
	どちらでもない	63	12.7	22.2	38.1	9.5	15.9	1.6	34.9	25.4
3人暮らし	あまり感じない	32	18.8	21.9	21.9	28.1	9.4	0.0	40.7	37.5
	感じない	7	28.6	14.3	14.3	0.0	28.6	14.3	42.9	28.6
	全体	238	21.8	22.3	26.9	11.8	13.4	3.8	44.1	25.2
4人暮らし以上	感じる	31	32.3	29.0	19.4	12.9	6.5	0.0	61.3	19.4
	まあ感じる	100	26.0	21.0	26.0	9.0	15.0	3.0	47.0	24.0
	どちらでもない	63	12.7	22.2	38.1	9.5	15.9	1.6	34.9	25.4
	あまり感じない	32	18.8	21.9	21.9	28.1	9.4	0.0	40.7	37.5
	感じない	7	28.6	14.3	14.3	0.0	28.6	14.3	42.9	28.6

※『あつた』=『あつた』+『まああつた』

※『ない』=『あまりない』+『ない』

※「問3 楽しさや生きがい感」「家族」の無回答は省略している。

図表59 生活支援相談員の活動の評価(単数回答)

		合計 (人)	あつた	まああつた	どちらでもない	あまりない	ない	無回答	『あつた』	『ない』
問9 手助けを受ける・困りごとを相談すること	全体	371	51.8	22.9	11.9	5.4	4.0	4.0	74.7	9.4
	ある	93	76.3	16.1	2.2	1.1	0.0	4.3	92.4	1.1
	ときどきある	126	50.8	27.0	12.7	4.0	2.4	3.2	77.8	6.4
	どちらともいえない	41	43.9	24.4	12.2	14.6	4.9	0.0	68.3	19.5
	あまりない	52	38.5	28.8	17.3	9.6	3.8	1.9	67.3	13.4
	ない	54	33.3	20.4	22.2	5.6	13.0	5.6	53.7	18.6
	全体	627	37.2	25.0	18.0	7.0	9.1	3.7	62.2	16.1
	ある	136	53.7	18.4	14.7	4.4	6.6	2.2	72.1	11.0
	ときどきある	195	37.4	29.7	19.0	5.1	6.2	2.6	67.1	11.3
	どちらともいえない	82	35.4	26.8	24.4	1.2	8.5	3.7	62.2	9.7
	あまりない	141	23.4	29.1	16.3	16.3	10.6	4.3	52.5	26.9
	ない	67	35.8	16.4	19.4	6.0	20.9	1.5	52.2	26.9
	全体	267	29.2	26.2	24.3	8.2	8.6	3.4	55.4	16.8
3人暮らし	ある	50	42.0	26.0	10.0	10.0	4.0	8.0	68.0	14.0
	ときどきある	99	34.3	28.3	21.2	7.1	6.1	3.0	62.6	13.2
	どちらともいえない	37	18.9	32.4	32.4	5.4	10.8	0.0	51.3	16.2
	あまりない	49	16.3	24.5	34.7	12.2	12.2	0.0	40.8	24.4
	ない	30	26.7	13.3	33.3	6.7	16.7	3.3	40.0	23.4
	全体	238	21.8	22.3	26.9	11.8	13.4	3.8	44.1	25.2
4人暮らし以上	ある	49	36.7	20.4	22.4	12.2	6.1	2.0	57.1	18.3
	ときどきある	83	21.7	25.3	25.3	13.3	10.8	3.6	47.0	24.1
	どちらともいえない	31	12.9	32.3	32.3	0.0	22.6	0.0	45.2	22.6
	あまりない	43	11.6	18.6	30.2	18.6	16.3	4.7	30.2	34.9
	ない	28	25.0	14.3	28.6	10.7	21.4	0.0	39.3	32.1

※『あつた』=『あつた』+『まああつた』

※『ない』=『あまりない』+『ない』

※「問9 手助けを受ける・困りごとを相談すること」「家族」の無回答は省略している。

図表60 生活支援相談員の活動の評価(単数回答)

		合計 (人)	あつた	まああつた	どちらでもない	あまりない	ない	無回答	『あつた』	『ない』
問13 ご近所や周辺の地域の方との関わり	全体	371	51.8	22.9	11.9	5.4	4.0	4.0	74.7	9.4
	自分から声をかけて関わりたい	113	70.8	15.9	6.2	2.7	0.9	3.5	86.7	3.6
	声をかけられたら関わる	128	42.2	28.9	16.4	3.9	5.5	3.1	71.1	9.4
	どちらともいえない	87	48.3	28.7	9.2	9.2	2.3	2.3	77.0	11.5
	あまり関わりたくない	23	34.8	13.0	30.4	8.7	13.0	0.0	47.8	21.7
	関わりたくない	9	44.4	11.1	11.1	11.1	22.2	0.0	55.5	33.3
	全体	627	37.2	25.0	18.0	7.0	9.1	3.7	62.2	16.1
	自分から声をかけて関わりたい	161	59.6	23.6	8.1	1.9	4.3	2.5	83.2	6.2
	声をかけられたら関わる	233	34.8	30.0	15.5	7.7	9.4	2.6	64.8	17.1
	どちらともいえない	163	27.6	24.5	29.4	7.4	10.4	0.6	52.1	17.8
3人暮らし	あまり関わりたくない	44	15.9	13.6	31.8	18.2	13.6	6.8	29.5	31.8
	関わりたくない	12	16.7	0.0	8.3	25.0	41.7	8.3	16.7	66.7
	全体	267	29.2	26.2	24.3	8.2	8.6	3.4	55.4	16.8
	自分から声をかけて関わりたい	55	38.2	32.7	10.9	3.6	10.9	3.6	70.9	14.5
	声をかけられたら関わる	107	38.3	25.2	24.3	7.5	2.8	1.9	63.5	10.3
4人暮らし以上	どちらともいえない	73	17.8	26.0	32.9	11.0	8.2	4.1	43.8	19.2
	あまり関わりたくない	20	10.0	30.0	35.0	15.0	10.0	0.0	40.0	25.0
	関わりたくない	10	10.0	0.0	20.0	10.0	60.0	0.0	10.0	70.0
	全体	238	21.8	22.3	26.9	11.8	13.4	3.8	44.1	25.2
	自分から声をかけて関わりたい	46	28.3	21.7	30.4	13.0	6.5	0.0	50.0	19.5
家族	声をかけられたら関わる	91	24.2	22.0	20.9	13.2	15.4	4.4	46.2	28.6
	どちらともいえない	74	17.6	25.7	32.4	9.5	13.5	1.4	43.3	23.0
	あまり関わりたくない	18	11.1	22.2	27.8	16.7	22.2	0.0	33.3	38.9
	関わりたくない	2	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	50.0
	全体	238	21.8	22.3	26.9	11.8	13.4	3.8	44.1	25.2

※『あつた』=「あつた」+「まああつた」

※『ない』=「あまりない」+「ない」

※「問13 ご近所や周辺の地域の方との関わり」「家族」の無回答は省略している。

図表61 生活支援相談員の活動の評価(単数回答)

		合計 (人)	あつた	まああつた	どちらでもない	あまりない	ない	無回答	『あつた』	『ない』
問18 実施してほしい生活支援相談員の活動	全体	198	52.0	24.7	12.1	5.1	3.5	2.5	76.7	8.6
	ご自宅への訪問	129	66.7	24.0	5.4	1.6	0.0	2.3	90.7	1.6
	心配ごとや手続きなどの相談	107	63.6	27.1	3.7	2.8	0.9	1.9	90.7	3.7
	サロンなど近所で集まる会合のお手伝い	69	71.0	23.2	2.9	1.4	0.0	1.4	94.2	1.4
	イベントの開催やお手伝い	49	65.3	32.7	0.0	2.0	0.0	0.0	98.0	2.0
	とくにない	34	17.6	8.8	38.2	17.6	17.6	0.0	26.4	35.2
	全体	1,014	37.1	24.8	19.5	7.1	7.8	3.7	61.9	14.9
	ご自宅への訪問	423	60.3	25.1	8.3	3.3	2.1	0.9	85.4	5.4
	心配ごとや手続きなどの相談	447	48.8	29.3	13.9	4.5	2.2	1.3	78.1	6.7
	サロンなど近所で集まる会合のお手伝い	337	51.3	30.0	12.5	2.4	2.4	1.5	81.3	4.8
不定期見守り世帯	イベントの開催やお手伝い	256	51.6	27.7	12.5	4.7	2.3	1.2	79.3	7.0
	とくにない	256	9.0	15.2	35.5	16.0	23.0	1.2	24.2	39.0
	全体	308	26.3	22.4	22.7	10.4	13.3	4.9	48.7	23.7
	ご自宅への訪問	110	44.5	28.2	14.5	7.3	3.6	1.8	72.7	10.9
	心配ごとや手続きなどの相談	130	33.8	31.5	20.8	6.2	5.4	2.3	65.3	11.6
通常見守り世帯	サロンなど近所で集まる会合のお手伝い	96	42.7	22.9	18.8	6.3	7.3	2.1	65.6	13.6
	イベントの開催やお手伝い	79	41.8	26.6	19.0	6.3	6.3	0.0	68.4	12.6
	とくにない	96	10.4	9.4	31.3	16.7	31.3	1.0	19.8	48.0

※『あつた』=「あつた」+「まああつた」

※『ない』=「あまりない」+「ない」

※「問18 実施してほしい生活支援相談員の活動」は複数回答である。

※「問18 実施してほしい生活支援相談員の活動」「対象分類」無回答は省略している。

図表62 生活支援相談員の活動の評価(単数回答)

		合計 (人)	あつた	まああつた	どちらでもない	あまりない	ない	無回答	『あつた』	『ない』
重点見守り世帯	全体	198	52.0	24.7	12.1	5.1	3.5	2.5	76.7	8.6
	応急仮設住宅	109	45.9	29.4	12.8	6.4	3.7	1.8	75.3	10.1
	みなし仮設住宅	13	69.2	7.7	15.4	0.0	0.0	7.7	76.9	0.0
	災害公営住宅	46	60.9	21.7	10.9	2.2	2.2	2.2	82.6	4.4
	東日本大震災で被災した後に再建した住宅	19	52.6	26.3	5.3	5.3	10.5	0.0	78.9	15.8
	東日本大震災前と同じ住宅	7	42.9	14.3	14.3	14.3	0.0	14.3	57.2	14.3
	その他	4	75.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	75.0	0.0
問24 今のお住まい	全体	1,014	37.1	24.8	19.5	7.1	7.8	3.7	61.9	14.9
	応急仮設住宅	480	33.8	24.0	23.5	6.3	9.6	2.9	57.8	15.9
	みなし仮設住宅	116	31.9	27.6	16.4	12.1	10.3	1.7	59.5	22.4
	災害公営住宅	180	41.1	30.6	12.2	7.2	3.3	5.6	71.7	10.5
	東日本大震災で被災した後に再建した住宅	136	46.3	20.6	16.2	4.4	5.9	6.6	66.9	10.3
	東日本大震災前と同じ住宅	44	43.2	13.6	20.5	6.8	13.6	2.3	56.8	20.4
	その他	41	34.1	24.4	29.3	9.8	2.4	0.0	58.5	12.2
不定期見守り世帯	全体	308	26.3	22.4	22.7	10.4	13.3	4.9	48.7	23.7
	応急仮設住宅	28	28.6	21.4	17.9	10.7	21.4	0.0	50.0	32.1
	みなし仮設住宅	24	41.7	16.7	16.7	0.0	16.7	8.3	58.4	16.7
	災害公営住宅	39	20.5	41.0	23.1	5.1	10.3	0.0	61.5	15.4
	東日本大震災で被災した後に再建した住宅	139	29.5	20.9	20.9	11.5	12.9	4.3	50.4	24.4
	東日本大震災前と同じ住宅	53	18.9	17.0	32.1	11.3	13.2	7.5	35.9	24.5
	その他	16	12.5	18.8	18.8	25.0	12.5	12.5	31.3	37.5

※『あつた』=『あつた』+『まああつた』

※『ない』=『あまりない』+『ない』

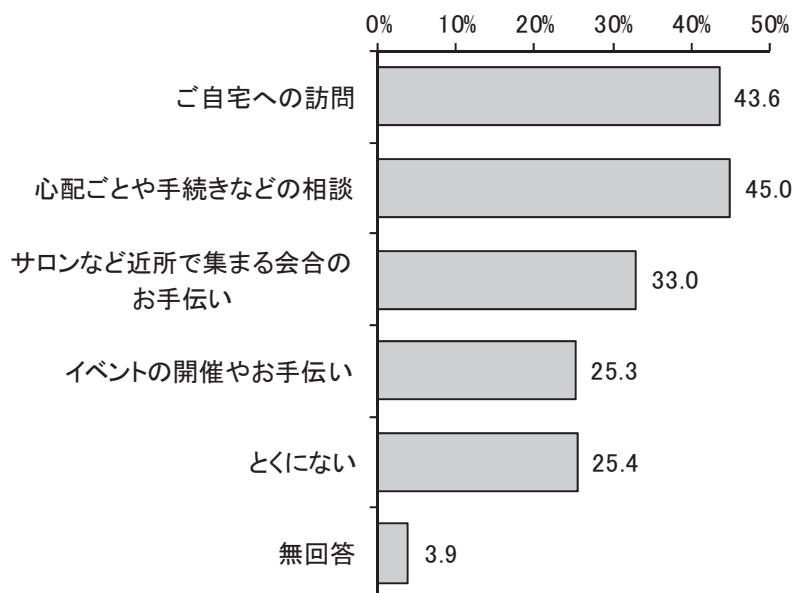
※「問24 今のお住まい」「対象分類」の無回答は省略している。

### (3) 実施してほしい生活支援相談員の活動

問18 あなたは、今後、生活支援相談員に被災者のための活動をしてもらいたいと思いますか。してもらいたいと思うものすべてに○をつけてください。

- 実施してほしい生活支援相談員の活動は、「ご自宅への訪問」43.6%、「心配ごとや手続きなどの相談」45.0%、「サロンなど近所で集まる会合のお手伝い」33.0%、「イベントの開催やお手伝い」25.3%の順に高く、「とくにない」は25.4%である。

図表63 実施してほしい生活支援相談員の活動(複数回答) n=1,520



- 実施してほしい生活支援相談員の活動として、「ご自宅への訪問」を第一位にあげたのは（次ページ参照）、居住市町村別では沿岸南部、対象分類別では重点見守り世帯、年齢別では70歳代以上、今の住まい別では応急仮設住宅・東日本大震災で被災した後に再建した住宅居住者である。
- 「心配ごとや手続きなどの相談」を第一位にあげたのは、居住市町村別では内陸、対象分類別では通常見守り世帯・不定期見守り世帯、年齢別では40～60代、今の住まい別ではみなし仮設住宅・災害公営住宅・東日本大震災前と同じ住宅への居住者である。
- 「サロンなど近所で集まる会合のお手伝い」を第一位にあげたのは沿岸北部となっている。
- 『実施してほしい生活支援相談員の活動がある』は、重点見守り世帯では8割を超える結果となった。

図表64 実施してほしい生活支援相談員の活動(複数回答)

		合計 (人)	ご自宅への訪問	相談、心配、ことや手続きなどの お手伝い	サロンなど近所で 集まる会合のお手伝い	イベントの開催や お手伝い	とくにない	無回答	『実施してほしい生活支 援相談員の活動がある』
									『実施してほしい生活支 援相談員の活動がある』
全体		1,520	43.6	45.0	33.0	25.3	25.4	3.9	70.7
居住市町村	沿岸北部	124	33.1	37.9	①40.3	24.2	27.4	4.8	67.8
	沿岸南部	1,231	①46.0	44.7	33.3	25.3	25.7	3.3	71.0
	内陸	165	33.3	①52.7	25.5	26.1	21.8	7.3	70.9
対象分類	重点見守り世帯	198	①65.2	54.0	34.8	24.7	17.2	1.5	81.3
	通常見守り世帯	1,014	41.7	①44.1	33.2	25.2	25.2	4.0	70.8
	不定期見守り世帯	308	35.7	①42.2	31.2	25.6	31.2	4.9	63.9
性別	男	608	41.3	①43.6	25.5	22.2	29.4	3.6	67.0
	女	894	44.9	①45.9	38.4	27.1	22.9	4.0	73.1
年齢	20代	31	19.4	32.3	22.6	25.8	①48.4	3.2	48.4
	30代	52	13.5	34.6	23.1	25.0	①51.9	1.9	46.2
	40代	137	35.0	①43.1	31.4	31.4	29.9	1.5	68.6
	50代	205	36.1	①47.3	35.6	26.8	30.2	2.0	67.8
	60代	336	36.0	①44.0	27.7	21.7	33.0	2.4	64.6
	70代	430	①48.8	46.3	36.0	26.7	18.8	5.1	76.1
	80代以上	316	①60.1	46.2	36.7	22.5	14.6	6.6	78.8
今の住まい	応急仮設住宅	617	①43.9	41.2	31.0	21.2	28.8	2.9	68.3
	みなし仮設住宅	153	41.8	①49.7	20.9	16.3	30.1	5.2	64.7
	災害公営住宅	265	47.2	①51.3	45.7	35.5	17.4	4.2	78.4
	東日本大震災で被災した後に再建した住宅	294	①43.9	42.5	36.1	28.6	24.1	4.4	71.5
	東日本大震災前と同じ住宅	104	39.4	①44.2	27.9	22.1	27.9	4.8	67.3
	その他	61	31.1	①50.8	24.6	27.9	21.3	3.3	75.4

※居住市町村、対象分類、性別、年齢、今の住まいの無回答は省略している。

※①は説明変数別にみた第一位の数値である。

※『実施してほしい生活支援相談員の活動がある』=100% - 「無回答」 - 「とくにない」

※網掛けは全体を上回る数値である。

図表65 実施してほしい生活支援相談員の活動(複数回答)

		合計 (人)	ご自宅への訪問	心配ごとや手続きなどの相談	サロンなど近所で集まる会合のお手伝い	イベントの開催やお手伝い	とくにない	無回答	『実施してほしい生活支援相談員の活動がある』
	全体	1,520	43.6	45.0	33.0	25.3	25.4	3.9	70.7
地域の方との関わり 問13 ご近所や周辺の	自分から声をかけて関わりたい	379	60.7	49.6	43.3	31.7	13.5	4.0	82.5
	声をかけられたら関わる	563	40.1	47.6	36.1	26.6	23.3	3.0	73.7
	どちらともいえない	404	38.6	43.1	26.7	22.0	32.4	2.5	65.1
	あまり関わりたくない	107	26.2	31.8	15.0	15.0	49.5	1.9	48.6
	関わりたくない	33	33.3	30.3	18.2	15.2	54.5	0.0	45.5

※「問13 ご近所や周辺の地域の方との関わり」の無回答は省略している。

※『実施してほしい生活支援相談員の活動がある』=100% - 「無回答」 - 「とくにない」

図表66 実施してほしい生活支援相談員の活動(複数回答)

※災害公営住宅の人のみの集計		合計 (人)	ご自宅への訪問	心配ごとや手続きなどの相談	サロンなど近所で集まる会合のお手伝い	イベントの開催やお手伝い	とくにない	無回答	『実施してほしい生活支援相談員の活動がある』
	全体	265	47.2	51.3	45.7	35.5	17.4	4.2	78.4
地域の方との関わり 問13 ご近所や周辺の	自分から声をかけて関わりたい	62	66.1	62.9	58.1	50.0	8.1	3.2	88.7
	声をかけられたら関わる	96	43.8	46.9	47.9	37.5	20.8	1.0	78.2
	どちらともいえない	76	48.7	59.2	40.8	26.3	11.8	5.3	82.9
	あまり関わりたくない	20	15.0	30.0	25.0	20.0	50.0	0.0	50.0
	関わりたくない	3	0.0	0.0	33.3	0.0	66.7	0.0	33.3

※「問13 ご近所や周辺の地域の方との関わり」の無回答は省略している。

※『実施してほしい生活支援相談員の活動がある』=100% - 「無回答」 - 「とくにない」

## 4. 自由記載

### (1) 自由記載

問25 被災者の支援について、ご意見等がありましたらお書きください。

※ いただいたご意見については、今後の活動の参考にさせていただきます。

図表67 被災者の支援へのご意見等

	応急仮設住宅	みなし仮設住宅	災害公営住宅	築、購入など	災した住宅（修繕、建し新	東日本大震災で被	同じ住宅	東日本大震災前と	その他	無回答・不明	現在の住まい	総計
1 支援への感謝	24	9	8		12		4		1	1		59
2 住宅について	20	8	3		5				5	1		42
3 地域の交流、つながり（の場）について	16	1	11		7		1			1		37
4 支援のあり方について	9	5	5		8		2		1			30
5 訪問、見守りをしてほしい	15	3	5		4		1					28
6 生活支援員さんへの感謝	9	1	5		2		1					18
7 自立について	7	1	5		3		1					17
8 訪問・見守りへの感謝	9	1	1		1					1		13
9 医療費免除について	4				6		1					11
10 将来の不安	4	1	2		3							10
11 経済的な不安	4	1	2		1				1			9
12 支援金・補助金について	6	1	2									9
13 交通・移動について	1		5		2		1					9
14 引き続き支援してほしい	1	3	1		2							7
15 介護について	2				3							5
16 健康について（不安）	2	1	2									5
17 寂しさ・孤独感	1		1		2							4
18 就労について	1	2			1							4
19 情報提供について	1		1		1							3
24 その他	13	3	10		6		1		1	1		35
25 特になし	8	3	7		7		2					27
総計	157	44	76		76		15		9	5		382

## (1) 支援への感謝（59件）

- 色々な情報を頂き助かっています。【沿岸南部】
- お世話になり、感謝してます。ありがとうございます。【沿岸南部】
- 災害の後、精神的にかなりのダメージを受けていた時に、支援の手を差しのべてもらえるのはほんとにありがとうございます。とても安心できました。次から次と災害が続いていて自分にしてもらったことを忘れず、募金とか、何か少しでもできることでお返しというか協力をしていきたいと思っています。【内陸】
- 今まで支援していただきありがとうございます。大きな病気などあって、お金の面で助かりました。二人とも年なのでこれからもがんばります。【内陸】
- ご支援はありがとうございます。でも最近は支援はなくなりました。【沿岸南部】
- もりおか復興支援センター・いわて内陸避難者支援センターの皆さんには大変大変感謝しています。ありがとうございます。【内陸】
- 高齢者にはこれからもどんどん声をかけていって頂きたいです。社協さんの姿を見るだけで皆さん安心できます。社協さんの仮設訪問はかなり意味のあるものだと思います。【沿岸南部】
- おかげ様で高台に現在新築を始めており、これから先の生活は大変だとおもいますが、今迄御支援いただき感謝致しております。皆様本当にありがとうございます。【沿岸南部】
- 震災後5年半、何かと御支援、御協力、御力添え等々数知れず、身も心も無くして居た私達にはどんなに有難く感謝した事か未だに忘れられません。でも何時迄も甘えて居られません。私達も独り立ちしなければならないと此の頃強く感じる次第です【沿岸南部】
- 震災から引き続きの御支援ありがとうございます。今後の活動にも昼と夜の寒暖の差が大きい時期ですので、ご自愛くださいますようお祈り申し上げます。【沿岸南部】
- 今のとおり支援してもらえたからありがとうございます。【沿岸南部】
- 特に大きな変化がある暮らしではないからついつい自力でくらしているような気持ちになってしまふが、気づかぬところで沢山のご支援を頂いているのだと思う。感謝！！【内陸】
- 何をいただいても本当に感謝です。食べる物、着る物、お金、一番たすかりました。ありがとうございます。【沿岸南部】
- 体一つでいたのに何から今までいただいて本当にありがとうございます。【沿岸南部】
- 震災後、被災者に寄り添っていただき、本当にありがとうございます。年配の方は、今も不安を抱えておりますので・・・これからもよろしくお願ひいたします。【内陸】
- 12月に新宅にうつります。支援の皆様ありがとうございます。【沿岸南部】
- よくやつてもらっています！（ありがとうございます）。【沿岸北部】
- 生活支援相談員の方々、今住んでいる地域の方々、市職員の方々、それぞれの方々から、本当に温かい心の支援をいただいて、現在に至ります。自分のできる小さな事を心がけながら、全ての方々へ恩を返していきたいです。日々、感謝の気持ちです。【内陸】
- 社協様の支援に本当に感謝しています。当初は、両親のひきこもりがありました。社協さんのおかげで今は、近所の人達の付き合いとか、様々楽しんでいます。これからもお世話になると思います。宜しくお願ひ致します。有り難うございます。【内陸】
- 長い期間継続して活動されている事に感謝致します。【沿岸南部】
- 災害の支援に感謝するばかりです。色々あたたかい支援、ありがとうございます。【沿岸南部】
- アンケートに答えていると落ちこみます。毎年温泉に連れて行って頂き感謝です。【内陸】
- 震災後いろいろな方達に助けられてきました。感謝の6年間でした。【沿岸南部】
- みなさんに案じて頂いて心安らかに生活して居ます。【沿岸南部】
- 私は仮設住宅でくらしている85才になるばあさんです。社協の人達にはいつもお世話になっています。健康講話とか体操とか。脳活の笑いヨガとかいろいろおしえてもらって生きがいをかんじています。これからもよろしくお願ひしたいです、どうも有り難うございました。【沿岸南部】
- 私は震災以来、社協のスタッフの皆さんからいたれりつくせりのサービスを受けてきました。独居老人でも安心してくらせる社会に感謝しております。いつもありがとうございます。【沿岸南部】
- これまで多大な御支援を頂きまして、本当にありがとうございました。ようやく前の自分にもどった様な気が致しております。日々年々、年をかさねて行く事に不安を感じております。今まで助けて頂きまして残り少ない人生を大事に生きて行きたいと思っております。ありがとうございます。【沿岸北部】
- 社協の職員さん、ボランティアさんには良く悩み事を聞いてもらい、問題があれば対応していただきました。ありがとうございます。【沿岸南部】
- 自分の生活で大変な中、何年も協力して頂き感謝しております。これからもよろしくお願ひします。【沿岸南部】

- 大変助かっています。【沿岸南部】
- 皆様のおかげで5年8ヶ月、風邪も引かず元気で生活が出来たことに感謝、感謝の気持ちで胸がいっぱいです。やっと我家に入ることになりました。ご支援ありがとうございました。【沿岸南部】
- 仮設住宅に住み、多くの方々より支援を受け、仮設の方々も喜んでおります。今後もよろしく。【沿岸南部】
- ありがとうしか云えない。本当にありがとう。【沿岸南部】
- 東日本大震災、まさか家まで流されるとは思ってもいなかったです。後であれも流したこれも流したと後悔。仮設住宅に入って社協さんが来てくれて、気持ちが立ち直っていきました。これからも年をとつ皆さんに迷惑がかかると思いますが、社協さんは続けてほしいです。高台移動ですが、まだできていないので義援金をなくさないでほしいです。【沿岸南部】
- 灯油の無料券などを頂き助かっています。【内陸】

## (2) 住宅について (42件)

- 震災から5年、発生当初の欠点が見直されていない。仮設住宅は使っていることになっているが実態は物置。応援職員や、被災者以外の入居者も多く、被災者との考え方の違いが一体感をそこなっている。【沿岸南部】
- 2DKの住居なので3人住いをしているので狭いので困っています。【沿岸南部】
- 内陸にも早く災害公営住宅が出来ると良い。【内陸】
- 自立再建を希望しているが盛土作業が遅々として進まず再建出来ないでいる。資材・工事費等は値上がりを続けていくので、今後の事に不安を感じている。個人情報まで入り込んで相談を受けてくれる支援員が居ればいいと思っています。【沿岸南部】
- 応急仮設住宅から出たいと思っているけれど、公営住宅が出来るのが遅い為にまだ行く場所がないのでスピードを早めて、町の方にも災害公営住宅を早く建設してほしいですね。これから先、どんどん年をとつてしまつて、健康の面も心配になってきています。【沿岸南部】
- 住宅再建の補助期限の延長（かさ上げ地未完成）。【沿岸南部】
- 一日も早く現在の応急仮設住宅から出て所定の高台に自分が建てた住宅で暮らしたい。5年の月日が流れもうあきあきした。【沿岸南部】
- 時間の経過とともに、条件が悪くなってきてている。住宅の再建に支援がほしい、坪単価があがっているなど。【沿岸南部】
- 私は、60代の女性ですが、今後、災害公営住宅を申し込んでいますが、一人暮らしで、まだ年金をもらっていないません。色々と聞くと家賃が、収入にもよるけども、高いとか聞きましたけど、その点が不安です。【沿岸南部】
- 支援員さんがいるから仮設の暮らしが心強いです。仮設暮らしも5年です。災害公営住宅にあと2年延びました。いつまで元気でいられるか気になります。【沿岸南部】
- 被災後この仮設に入りましたが隣を除き皆とても良い方ばかりで快適な日常を送っていますが、隣は8人家族で子どもたち4人で夜も昼もドタン、バタンで夜もゆっくり寝れません。心臓に良くないです。子供のいる家族は仮設の真ん中でなく、端の方に入れた方が良かったのでは？と思います。【沿岸南部】
- 仮設から早く出たい。【沿岸南部】
- 自宅再建で長男家族と同居予定で進めていたにもかかわらず、5年も6年も長引き、もうこれ以上待てないと同居を断られた。一時ショックを受けるも（心が折れ、不安な毎日でした）、前進に向かっています。【沿岸南部】
- いつも色々お世話頂きありがとうございます。今住んでいる所に災害公営住宅を早く建設して頂ければ助かります。お願いいたします。【内陸】
- 自宅を再建しました（新築）。25年にローンを組みました。住宅金融支援機構からの借入ですが、当時・・・5年以降0.94%・10年以降1.47%だったのが、28年3月・・・5年以降0.03%・10年以降0.56%。これは被災者には平等とは言えないと思います。先に建てた者が馬鹿を見た事になります。私達はなるべく皆さんにご迷惑をかけまいと思い早く自立したのに、とても残念です。この借入は、子供達にのこす事になりとても不安でなりません。国策で金利の変動をした様ですが、弱者のしわよせをなんとかしてもらいたいと思いますが、私、変でしょうか？【内陸】
- 支援のおかげで住宅を再建出来た事に感謝しております。【沿岸南部】
- 公営住宅を希望していたが、三人での家賃が都会なみに高く、入居することをやめた。自家の近くの土地（被災地）も高いし、売ってもらえない。このままなのかとても残念な思いでいる。今後どうしたら良いかわからぬ（このまま？）。【沿岸南部】
- 福島、宮城、岩手に住んでいて仮設住宅に入っている方々に少しの家賃でもいいから支払ってもらって少しでも長く住めるようにして下さい。福島県、宮城県、岩手県は同じ大家族です。絆です。【内陸】
- 自宅再建の支援を重点にしてほしい。【沿岸南部】

- 仮設のまわりに水道を、付けてほしいです。【沿岸南部】
- 日本建築（大工）で自力再建で家を建てたが、復興の援助、色々手続を自分でやるのに限界がある！（モデルハウスをたのめばよかった反省）。【沿岸南部】
- 今いる災害公営住宅の家賃を無料にしてもらいたい。それが私にとって一番です。【沿岸南部】
- 二重ローンになりかなり大変です。では家を建てなきやいいと言う人もいるが、では災害公営住宅は無料か否か。収入により金額（家賃）が多く発生する。いずれ、年寄りが要介護になって仕事をやめざるをえない時でも、二重ローンを払い続けなければならない・・・家を建てたから良いわけでもない。【沿岸南部】
- 災害公営住宅の家賃について。70も半ばになりますと、年金以外でも収入がなくなります。他の県では、5年間半額というところもあるとか。今、医療費が無料ですが、それもなくなると、今の金額ではきつくなります。【沿岸南部】
- 災害公営住宅の家賃に誤りがあったという事で、正しくない家賃の為、広い部屋が良かったのに狭い部屋にしたり、色々な面で、表に出ない事（問題点）が多くある現実をふまえ、一度入居しても部屋が空いた場合、状況が変わり移ったりする事を考えてあげないと、別の市に引っ越ししたりして人口減少の加速化につながると思うので、制度の見直しを臨機応変に実行しなければならないと思います。必ずこの点を考えて実行して下さい。【沿岸南部】
- 震災直後の仮設入居ではなかったので、1回目の入居者が設備品を持ちさったので2回目入居者は全部購入して入らなければならなかったので後の人々の事も考えてほしいです。【沿岸南部】
- 町内ですけど、もとの住所にもどりたいです。【沿岸南部】
- 仮設住宅で区長がいない為、ゴミ、草刈り等の徹底がない。もう少し考えて欲しい。【沿岸南部】
- 復旧復興の原点は住環境の速やかな復興が一番目にあります。【沿岸南部】
- 私は高台造設団地を希望しているが復興が遅れ先が見えない。早期の復興を御願いします。【沿岸南部】

### （3）地域の交流、つながり（の場）について（37件）

- 再建したって被災地に関係ない自治会に入り、年齢も年齢だから環境の変化に慣れない。お茶会等支援員の方々に会うことが今楽しみ・・・でも再建して参加者が低下・・・→廃止になるのかしら？高台集団移転の組織化、されなかつた。高齢になって単身で、縁の無い所へ来るものでない。自治会への負担はなんの減免も無く、共同作業から何から平等に割り当てになる。こんな所と知っていたら来るんじやなかつた。失敗、後悔ばかり。【沿岸南部】
- あと少しで高台に行きますが今迄5年半お茶会で話しあったり、けっこう楽しみました。ささえにもなりました。ほんとにありがとうございました。【沿岸南部】
- 3B 体操、生協さん的小物作り、社協さんのおやつ菓子作りなどは私は楽しく参加させて頂きました。ありがとうございました。【沿岸南部】
- 自分にとって直接のかかわりが無いので無くても良い。【沿岸南部】
- 公営住宅の支援お願いしたい（お茶っこ会、イベント、物資等）。【沿岸南部】
- 一人暮らしの老人の方に訪問を行っている事は良い事だと思います。近所でも、私たちがどこまで関わって良いのか判断が難しい事があるので助かります。【沿岸北部】
- 仮設の入居者もだいぶ少なくなり、イベント主催やボランティアの集りにも参加者が少なくて大変です。せっかく来てくれるので申し訳なく、用事があつても参加している時もあります。【沿岸南部】
- 常に利用できる、談話室や集会所が欲しい。【沿岸南部】
- 手芸教室はいつも楽しみにしています。出来れば軽く体を動かす簡単な体操や踊りなどが良いと思います。集会所の利用法などもう少し気軽に皆さん出て来て欲しいです。【沿岸南部】
- 被災から5年7ヶ月、私は人との接触、関わりが嫌いな性格の為、本日まで1人で生活、行動し、あらゆるサロン、イベント等にも参加する事皆無で本日まで来ています。この様な人間も居る事を、考慮、参考にして欲しい。【沿岸南部】
- 団地の中にある集会所はいつも同じ人のたまり場。たまに行く人には場違いな所に来たように感じられて行きにくい。入りにくい場所のせいか？【沿岸南部】
- 日中仕事にでかけているので近所・両どなりとは、あんまり交友がありません。老親2人をみなければならぬので（両親は病院通いなので何かにつけて、これから年をとるごとにいろんな事がおきると思います）。【沿岸南部】
- 災害公営住宅に住んで居ますが、月1度位、サロンを開いてもらっていて、一人暮らしの方達とも話し合えるようになります、これからも続けて欲しいです。【沿岸南部】
- 生活支援相談員の方々にはいつもお世話になっています。今もイベントがある時は仮設談話室で仮設にいた方達とお会いしていると安心感があり、色々な事をお話しでき、楽しいです。【沿岸南部】

- 家族に高齢者がいます。週一度のお茶会、集まりに楽しく参加しています。そのような催しが無ければ家の中に閉じこもっていると思います。震災前にはこのようなこともなかつたのでむしろこの点では助かっています。今後もこのような活動を継続していただきたいです。【沿岸南部】
- 家から出るきっかけを作つて嬉しい時があります（家にこもつてしまつてので・・・）。【内陸】
- 震災前の地区の人達との交流が出来るイベントを半年に1回でもあつたらいいかなと思います。【沿岸南部】
- 5年も仮設住宅に住んで居るが、挨拶する程度のコミュニケーションしかなく、また集約により空室にどんどん新しい方が引つ越ししてきている状況で、隣にどんな方が住んでいるのか不安はある。このまま何のトラブルもなく再建に向けてがんばりたいので力をもらえたたらと思う。【沿岸南部】
- サロン活動などの相談にのつてくれてとても助かっています。【沿岸北部】
- 世の中には一人で居ることが、一人で何かしていることが嬉しい人が結構いらっしゃいます。イベントに参加しない、訪問を喜んで頂けないことを支援者は落胆してはいけないと思うことが時々あります。「継続は力です」頑張って下さい。【沿岸南部】
- 早く集会所を使える様に手配をしていただきたいです。たとえば、イス、テーブル（高さがイスで使える様に）ポット、エアコン等色々希望が有りますがいつ迄もあまえるなという事を聞きます。でも1人で暮す老人や家族で暮らしても昼は1人の方達の事を考えて気持ちよく暮せるかんきょうを作つて下さい。【沿岸南部】
- 仮設住宅から災害公営住宅に入居して1年と6ヶ月になります。公営住宅の集会所のイベントや開催に支援していただき月1回みんなで集まって楽しんでいます。【沿岸南部】
- 来年には災害公営住宅に入居予定ですが今迄のようく相談員さん、サロンやイベントなどがあるように思います。なくなれば家から出る回数がなくなり、自分がだめになればよわると思います。宜しくお願ひします。【沿岸南部】

#### (4) 支援のあり方について(30件)

- 同じ被災者でもみなしの人に物資支援等がなかつた（役所へ行つても通らなかつた）。【沿岸南部】
- 形のある支援をお願いします。マニュアル通りの仕事（支援）はウンザリ！【内陸】
- 物置きが無くて困っています。仮設は有りますが、みなし仮設（雇用促進住宅）は有りません。【沿岸南部】
- 私は、家は流れず、作業場とか舟は、流されました。でも被災者には申し訳ないですが、被災者にはいろいろな支援物資などの援助とかあっても私達のような半端な被災者には、なにもなく、年金生活の私達は、却つて被災者を羨ましいぐらいです。【沿岸北部】
- 応急仮設の方が優遇されていました。今まで、何かにつけ。みなし仮設はおいてけぼりの状態でした。みなしの方にも、もっと目を向けてほしかったです。【沿岸南部】
- 本当に困つてゐる人の支援になつてないと思います。【沿岸南部】
- 震災後だけではないと思いますが、特に1人住まいの人の身守り（見守り）が大事なのかと思います。性格や体調等で、皆さんの中に入つていくのが難しい弱い人達への心配りとか、個人それぞれ違う為に、1人1人に合つた対応がこれからはよけいに必要なのかと感じます。悩み事を真剣に聞いて、安心できたか？気持ちにゆとりができ幸せな気持ちになれたかどうか、真に心の悩みを聞き、信頼関係ができ継続できるか。【沿岸南部】
- 支援相談員の活動については、実感があまりなかつたと思います。【内陸】
- 生活支援員さんの家庭訪問の際、手ぶらで来ないで何か生活物資等配つていただけたらうれしいです。【内陸】
- 仮設住宅に入った人とみなし仮設に入った人の物資のくれる差別がすごくありました。まして一部損壊でその場に住めなくて古い家を修繕して入つたけど支援金、見舞金、なにもなかつたです。4、5回仮設をかりに行つたけど、あなたは家のこつてないのでさせません、と言われました。こういうことがないように。【沿岸南部】
- 毎月数回ご苦労様です。私等の様な老人の話を聞いて下さつたり、新しい社会の生活に適応するよう、ご指導下さつて本当に有り難うございます。不便（交通）な地なので、計画的な買物計画があると助かります（店がないので）。【沿岸北部】
- 生活支援相談員等と仮設住宅管理者（入居許可者）との横の連絡がとれていない点が見られる。（例）被災から5年超も経過しているが、この間、4・5泊位のみの架空的な世帯がある（倉庫的なもの）。社会的にも許せない行為である（別途アパートにいたとも聞く）。当時の仮設住宅困窮を思うとたまらない。甲子町第2仮設団地住人。【沿岸南部】
- 本当の被災か被災でないか見きわめて支援してほしい。【沿岸南部】
- 5年たちましたが、これからがきびしい生活になります。少しでも生活の支援をしてもらえば幸いです。集会所などでのみんなであつまれる機会は、続けてもらいたいです。【内陸】
- 外にもトイレがあつた方が良い。外来客がこまつてゐる。公衆電話あつた方がいい。お年寄りがこまつてゐます。外にもこしかけがほしいです。【沿岸南部】

- 「仮設を出て良かった」で終わる事はない、新しい処での生活にも手が必要。気軽に声かけあえる顔の見える関係づくりがまだまだ必要、大事。【沿岸南部】
- 新しい住宅も流れ主人も老人ホームで仕事中に亡くなりました。でも人を助ける事が仕事でしたので主人は満足して旅立ったと思います。でも私はこれから新しい生活、県のアパートですけれど、エアコンも無し、カーテンも無し、電灯も無しの様子です。79才にもなりますと、風邪もひきやすく夏は熱中症になるかと毎日心配します。せめてエアコンを付けて下さいとお願いしたいです。老人の1人の生活を考えて下されば有難いと思います。【沿岸南部】
- ともかく時間がかかりすぎる。はやくやってもらいたい。【沿岸南部】
- 人それぞれ心に人にいえない事もあるようです。訪問も大切ですが留守が多いと思います。談話室でのイベント参加者が少なくなっています。時間がたつにつれて体調を崩している方が多いのではないか。やはり心のケアは時間をかけなければ感じています。【沿岸南部】
- 震災後社会福祉協議会及び各皆様のご支援に対し深く感謝申し上げます。震災から5年が経過し、個人としては震災に係る支援は、もうそろそろかなと感じております。何故なら岩泉町はお陰様を持ちまして災害復興が進み住居の新築・公営住宅の外、各施設整備も99%に達しているからであります。但し、問題なのは震災により個人個人が受けたばかり知れない心の問題があるから(私としては新築による借金返済です。現在69才です)。【沿岸北部】

## (5)訪問、見守りをしてほしい(28件)

- 一人暮らしの方には、声かけなど必要だと思います。これからも、頑張って下さい。【沿岸南部】
- 自宅の再建、災害公営住宅への入居と住居については落ち着いても、数年は見守りを続けていただきたい。【沿岸南部】
- 今後も訪問してほしい。1人でいるので来てもらえると安心。【沿岸南部】
- これからも自宅への訪問宜しくお願いします。楽しみにしています。【沿岸南部】
- 親戚知人、友人がいない現在淋しい限りですが、支援センター、介護関係の人達に見守られて、心強いて。これからも頼りにして参ります。【内陸】
- 一人暮らしの方への訪問を増やして頂きたいです。【沿岸南部】
- できれば、もっと来て欲しい。【沿岸南部】
- 仮設住宅自治会の役員をしているが、仮設で体が弱く一人暮らしの人がいる。社協の見守りが週に2回とか定期的に決めて見守りをしてもらえば、役員としても助かる。出来れば、そのことを自治会役員に教えてほしい。【沿岸南部】
- 公営住宅に入って間がありませんが、時々声がけをしていただければ、お一人暮らしの方々はうれしいと思います。今後とも宜しくお願い致します。ありがとうございます。【沿岸南部】
- 自宅訪問は続けてほしいです。高齢者は来客が刺激があって喜びますから。【沿岸南部】
- 家に居ても、声がけするのはお年寄りが住んでいる所だけです。声がけするのは、いい事だと思いますが、するなら一軒一軒した方がいいと思います(大槌町)。【沿岸南部】
- 被災して以来、定期的に見まわりをしていただきまして安心して暮らしてこれました。高齢者は声をかけていただくだけでも心にゆとりを持てます。できましたら今後も活動して欲しいと願い暮しております。【沿岸南部】
- 今後の生活に経済的不安があります。私は、視覚障害のため、現在マッサージの国家試験に挑戦中ですが、未だ先が見えません。この先も相談訪問などを願います。【内陸】
- 仮設住宅から災害公営住宅に住むことになつても家庭訪問をしていただけるでしょうか。【沿岸南部】
- 平日、自宅訪問の場合、在宅していることが少ない。【沿岸南部】
- 社協の生活支援相談員にもっと来てほしい。【沿岸南部】
- 仮設住宅より宅地移転し、でも当分各自が生活になれる迄、見まわりが必要と思われる。【沿岸南部】
- 今月中には私共も新築した家に転居しますが、これから新しい場所での生活がまっています。何かと不安な面も多々あると思います。今日この活動を時々でもいいのですが、お声かけ、見守りいただければと願っております。【沿岸南部】

## (6)生活支援員さんへの感謝(18件)

- 生活支援相談員さんとてもありがたいと思います。私楽しみにしております。またどうぞ来て下さいね。【沿岸南部】
- 支援員様方の活動中の安全第一を、お願いします。誠にありがとうございます。【沿岸南部】

- 支援員さんの仕事の内容がどこまでが基準かわからないのでいつもまよう時がある。作業的な事、相談的なことの基準の明記が必要では、と思う。【沿岸南部】
- 生活支援相談員には毎週顔を見せててくれて話をよく聞いてくれ、有難く感謝している。安心して周りに話せない事も話せる頼れる支援員です。台風10号の時は、雨の中、仮設の様子を見に来られました。有難うございます。【沿岸南部】
- 毎月社会福祉協議会の方が来て下さるのを楽しみにして居ります。今後もよろしくお願ひ致します。【沿岸南部】
- 震災後、グリーンピア仮設住宅で暮らしています。今、高台に再建中で、12月頃引っ越しする予定です。5年半、支援員の方達から励まされ、いろんな相談をしたり、大変助かり感謝しています。今後も今まで同様の支援を期待したいと思っています。【沿岸南部】
- 支援センターの方には、いつもお世話になって、ありがとうございます。イベントやサロンなどにも行きたいと思いますけど目を離せない病人が居るとなかなか行けませんが、いつも来て頂いてとても感謝致しております。ありがとうございます。【内陸】
- 生活支援相談員の活動に感謝いたしております。今後とも、支援をよろしくお願ひいたします。【沿岸南部】
- 来る度に声をかけていただき笑顔が好きです。【沿岸南部】
- 支援相談員の方々はいつも笑顔で対応して下さるのでとても心強く思っています。【沿岸南部】
- 平日仕事をしていると、生活支援相談員に会えないので、休日に相談員と話せる場所ができたらしいと思います。被災して5年経ちますが、色々な事をしてくれてありがとうございます。【沿岸南部】
- 仮設住宅に住んでいた頃より大変お世話になり有難うございます。親切でお話しやすい方々なので今後もよろしくお願ひします。【沿岸南部】
- いつも親切で大変よいです。ほんとよがんすヨ。【沿岸南部】
- 家にあまりいないので分かりませんが、相談員の方は皆さん良くしてくれると言っていました。高齢がいる仮設では気にかけていただければありがたいです。【沿岸南部】
- ありがたいと思っています。衣食住、全部支えていただきました。相談員の方、皆さんやさしく接して下さって、ありがとうございます。感謝しています。ありがとうございます。【沿岸南部】

## (7)自立について (17件)

- いつまでも支援ではなく、自立に向けた補助の役にまわってもよろしいのでは？相手を選ぶのも変だと思う。「あの家は苦手、あのおばさんはちょっと」とさけて通る支援員さんを見かけたことがあり、私もその苦手の中の一人かも知れないと思えたりする。震災から明るい笑顔を届けていただき感謝はしています。【沿岸北部】
- 公営住宅なので支援員の方々はお役目なしにしてはいかがでしょうか。今後は各自治会にまかせては。【沿岸南部】
- 建設コストが高くなり自立再建が難しくなった。復興が遅すぎる。【沿岸南部】
- 仮設にいた時の気持ちが抜けず、いつも支援（無料で）を求めている住民が多い。今後は、自立できる様な支援・活動が必要かと思う。【沿岸南部】
- 被災して5年半、いつまでも支援を待ってはいけない。一方では忘れられるのは嫌、という相反する考えがある。年寄り程そういう気持ちが強いと思う。【沿岸南部】
- 自力再建で支援の対象にならない人が増えてきて、反対に未だ支援を受けている人もいます。いつかは全員が支援を受けない（必要のない）社会にしないといけないと考えます。それには、ある程度支援にも期日があつてもいいと思う（個人の考えです）。【沿岸南部】
- 支援いただき感謝しております。人それぞれだとは思いますが、私は、復興住宅に入れば、自立だと思います。自宅に訪問希望の方は別として、仮設とはちがい、いつまでも皆様にあまえる事は・・・と思います。この先は自分でもわかりませんが、支援の方々には、感謝しております。被災した人の中にはこの様な考え方の方もおります。ご心配ありがとうございます。自立、がんばりたいと私は思っております。【沿岸南部】
- 何時迄も人の力をあてにせず、自分で生活出来る様に、早く立ち直るべきです。日本経済も大変ですので、みんな自分の力で歩く様に、頑張ってほしいものです。【沿岸南部】
- 今迄沢山のご支援をいただき現在は落ちついた生活を取り戻しております。時にはご支援いただく事もあると思いますが、自立を心がけて暮らしたいと思います。【沿岸南部】
- 思いやりをいただき、その訪問を感謝するのであります。是非にも御礼のできるように頑張りたいと思うのであります。【沿岸南部】
- 自立に向けての支援をして欲しい。【沿岸南部】
- 他の所でも災害がおきているのでいつまでも被災者という立場ではなく、心の自立に向けて指導して欲しいと思います。【沿岸南部】

- 早く町に帰りたいです。自分の足で生活したい。【沿岸南部】
- 支援はありがたいが、できるかぎり自分達でがんばらなければと思う。相談員の人数が多すぎる気もする。【沿岸南部】

## (8)訪問・見守りへの感謝 (13 件)

- 暖かい御支援に心より感謝申し上げます。見守っていただける事が心の支えになります。【沿岸南部】
- 社協を中心とした訪問の健康観察や、大雨時の避難指示の連絡など、たくさんの配慮に感謝しております。心地よい地域と過ごしやすい環境に救われ、健康に努めています。ありがとうございます。【沿岸南部】
- いつも、見守り、声掛け、ありがとうございます。被災者とはいえ、いつまでも支援していただいてばかりもいられないと思います。しかし、高齢化の社会を思えば、社協さんの様な存在はこれからも必要に思います。【沿岸南部】
- 仮設に毎日のように来てもらってほんとありがとうございます。【沿岸南部】
- 被災した当時から訪問していただき有り難いです。【沿岸南部】
- 毎週回って来るので安心している。自分は聴覚障害者。【沿岸南部】
- 大震災により「着の身着のまま」からスタートした仮設住宅での生活ですが、みな様から多種多様のご支援を頂き、心から感謝の気持でいっぱいです。当初は、自宅での生活者から取り残された様なマイナス感覚もありましたが、みな様からの暖かい声かけが大きな支えになりました。声かけ（ことばの支援？）されただけでも心が開く様な前向きの気分になります。【沿岸南部】
- 月に何回か顔を見に来ていただきありがとうございました。【沿岸南部】
- 訪問していただきありがたく思っている。【沿岸南部】
- 意見は何もないが、来てくれてうれしい。仮設も空室が多くなり、とてもさみしい。【沿岸南部】
- 若い娘達の見まわりが元気が出る、心がなごむ様だ。【沿岸南部】
- 災害公営住宅に移っても、陽だまりの訪問を希望します。【沿岸南部】
- 安否確認に来て下さる方々はいつも笑顔でお変わり有りませんかと声をかけて下さいます。沢山のやさしさと元気をいただいております。ありがとうございます。【沿岸南部】

## (9)医療費免除について (11 件)

- 今後も医療費免除を続けてほしい。よろしくお願ひ致します。【沿岸南部】
- 医療費の免除期間の延長をお願いします。【沿岸南部】
- 医療費免除の更新。【沿岸南部】
- 2ヶ所の病院に通院しています。健康保険一部負担金免除を出来るだけ長く更新していただきたいと思います。【内陸】
- 医療免除になってますが、免除がなくなると医療を受ける事が困難になります。家族全員病院にいってます。【沿岸南部】
- 医療費自己負担分の免除を引き続きお願いしたい（震災後、体調が悪くなつたため）。【沿岸北部】
- 震災後の無理が、年齢を重ねると共に体の不調にあらわれてるので医療費の自己負担分の免除を引き続きお願いしたい。道路だけが立派になつても、通る人がいない村にならないように。【沿岸北部】
- 国民健康保険1部負担免除を継続してほしいです。【内陸】
- 震災後、後期高齢者医療一部負担金等免除の延期を望む。【沿岸南部】
- 医療費などの免除を続けてほしい。【内陸】
- 現在、脳梗塞後遺症の加療（震災前1年前から）（リハビリ）を行っているが、今後、行政の支援が続けられるかどうか。現在の医療免除は大変有難く、医療機関に出掛けやすいが、今後この制度がいつまで続くか、早くご教示願いたい。それにより住食の生活に変化も生じるので対応の方宜しく（代筆）。【沿岸南部】

## (10)将来の不安 (10 件)

- 本当に被災者の生活は良くなるのか。【沿岸南部】
- 早く、落ちつきたい。【沿岸南部】

- 「被災者」と言う文字に違和感を覚え、もう5年にもなるのに、「被災地」「被災者」という言葉はいつまで続くのかという思いもあります。しかし、いつまでも忘れないで欲しいという意識も残っています。複雑です。【沿岸南部】
- 仮設生活を卒業できても、あまりにも失った物が大きすぎるので、これから先の生活に不安を感じています。まだまだ心のケアが必要だと思います。【沿岸南部】
- 東日本大震災にあって、全部無くしてまもなく旦那を病気で亡くして、金だけが頼りなのに、遺族年金も何かに引かれて、とってもこれから先が不安です。地震、津波が無ければ旦那もこんなに早く亡くなる事もないはずだ。年金だっていっぱいもらえるはずだったのに本当に悔しいです。何を楽しみに生きていいのかなあ…。何とかならないのかなあ…。【沿岸南部】
- これからは御世話になる回数が多くなると思います。80才になりますから、二人だけの生活ですから。【沿岸南部】
- 高齢なので緊急事態の場合、身寄りが遠くに住んでるので不安です。【内陸】
- 少しでも働けるうちは良いのですが、働けなくなった時の生活が心配です。被災し、借金ものこってますので…。体もだいぶきつくなっています。あとどれ位もつものなのかと考えて毎日生活しております。今は年金が6万と少しです。働けなくなったらどうなるのと日々考えています。国には最低限の生活の保障をお願いしたいと思います。弱者が生活（きちんと）できる様切にお願いしたいものです。生活支援相談員に安心して、又は心をくだいてお話しを聞いて頂きたいと思います。それが国に届くなら！【沿岸南部】
- 仮設住宅から公営住宅に早くうつり安定した暮らしを切望します。年々収入の不足で自分の家は望めないです。益々孤独感になり体力のおとろえが不安です。【沿岸南部】
- 社会福祉協議会には関係ないと思いますが、家を建ててからが大変だと思います。子供の大学、住宅ローンとこれからが不安である。【沿岸南部】

## (11) 経済的な不安(9件)

- 中小企業経営者ですが、震災後、資金難をはじめ設備稼働不能となり、目下休業中。仮設住宅住まい5年余、体調を崩しペースメーカー手術、酸素ボンベ使用の状態ですが、仕事上では研究成果もあり、この事業化の為、再開を期しております。このジレンマに苦悩して居ます。【沿岸南部】
- 国民年金だけの収入なのでこの先のことが不安です。年々病気も増えていますので心配です。年金がせめて1人10万位なら何とかやっていけそうですが。【沿岸南部】
- 震災により、職も失い、再出発して頑張っていますが、年齢の事も有り中々、パート、アルバイトの給料で、生活は苦しく、体も足腰には年齢も見えてきて、住宅は外見共に立派ですが中味の生活は苦しいものがあります。【沿岸南部】
- 大部分の方々は私を含め経済的な事、年齢の事が心配の種だと思います。【内陸】
- 病院、医療費、病院費、お金。住む家を建てるのに、ゆるくない。【沿岸南部】
- 戸別に訪問して頂く事は「忘れられない」という実感がわき、心が頼もしい気持ちになります。ただ、心配事は経済的問題が多く、両親や自分自身が病気になった時、どうやって食べて行けばいいだろうと不安になります。本当に何ともならなくなったら、助けてもらえる相談窓口や支援制度を拡充していただければ心強いです。【内陸】
- 収入の1/3が住居費となるので、このまま同じところをかりて居ても大変かと思う中、引越しなどの予算も考えたりすると、とにかく不安だらけです。【内陸】
- お金の支援をしてほしいです。【沿岸南部】
- 今まで色々な支援をいただき大変ありがとうございます。でもこれから仮設をでて借金を返済しながら生活する事は楽しみでもあり苦労の始まりです。35年のローンをかかえ生活はきびしくなるばかりだと思います。又今までの様に健康保険もただと言う訳とはいきませんしお金が発生しますし、つましい生活をしていかなければなりません。自分の収入だけでは生活もままならず今後の事が不安でいっぱいです。何の支援が良いかといえば1番には義援金が良いと思います。でも私達だけではなく色々な所で災害が起きているので無理でしょうけれども。【沿岸南部】

## (12) 支援金・補助金について(9件)

- 国からの支援金というか復興支援金が足りないと思います。1000万とまでは行かなくても800万ぐらいは個人に対して出していただければすぐくたすかります。【沿岸南部】
- 高齢者となり、収入がなく支援金が欲しいと願っています。【沿岸南部】
- 住宅建設補助金の増額、仮設住宅が、中学校グラウンドなので早く移りたい。【沿岸南部】
- 再建支援金の増額を。【沿岸南部】

- 家賃が大変です。減額支援が必要です。【沿岸南部】
- 平野達男氏はもう自民党に入ってしまい、被災者の為にかかげた支援の多くを実行させてもらうように表立って（新聞・岩手日報）やらせて下さい。本人に伝えて。義援金がもう一度ほしい（家のトタン屋根が雨漏りするの工事費をきいたら60万かかると言うので年金だけではどうにもならないのです）。【内陸】
- とにかくお金がほしい。【沿岸南部】
- 住宅再建したいが、消費税分の支援より銀行ローンの利息分の方を考えてもらいたい。【沿岸南部】
- 生活の支援。【沿岸南部】

### (13) 交通・移動について (9 件)

- 交通の不便や買い物の不便（近くに店がない）。【沿岸南部】
- 村道・旧道等の復旧等についてわかりたい。事前の説明があつて良いのでないか？【沿岸北部】
- 膝が悪くバス停へ行くまでが坂でタクシ一代がかかるので、バス会社に話をしてもらいたい。【沿岸南部】
- まずは毎日の生活で頭が痛いです。いろんなバスなどが動いて走っていますが便利がわるいので、すごくやんわりいます。もっともっとはばひろく走ってほしいです。どのバスも同じようなコースで走っているように思います。車のない方はそれでなやんんでいるようです。【沿岸南部】
- 今後の病院歩きが心配。【沿岸南部】
- 交通の便が悪く、日常の生活に不便を感じています。【沿岸北部】
- 住宅地にお店が無いので市内迄タクシーを使用し買物に出かけタクシ一代が買物代より高く生活が大変。近くにお店があれば・・・。【沿岸南部】
- バスの時間を気にしないで自由に買物等が出来るところに早く住みたいです。交通費が大変です。【沿岸南部】
- 来春に高台に新築をする人ですけど、人の話だと民家から遠い所にバス停が出来るそうですが、もうちょっと考えてもらいたいです。なるべく民家の近くにお願いします。8団地に住むものです。よろしくお願ひします。【沿岸南部】

### (14) 引き継ぎ支援してほしい (7 件)

- だんだん忘れられてきている。【沿岸南部】
- 支援が足りません。今が一番困窮しております！【沿岸南部】
- 再建などが進んで仮設住宅に残っている方たちの気持ちが「とり残された感」が強くなってきたように思います。この方々への声がけ、見守りなどを続けていただきたい。復興住宅に入居された方も時間がたつくると、自分の生活が整つてくることで、周囲への関心がうすれてしまい、社協さんたちが頑張ってつくりあげてきた自治会活動も低下してしまいそう。どうか、皆さんのが居ごちの良い住宅になれるように今後も活躍していただきたいと思います。いつもありがとうございます。【沿岸南部】
- 仮設住宅にすんでる人達には色々なことやなに事も連絡があるようですが、私達にはなにもない。【沿岸南部】
- 仮設にいろいろ連絡があるけど住宅はない。【沿岸南部】
- みなしひ假設住宅には訪問も無いし、支援物資もありませんでした。今更支援物資は要りませんが、みなしひ假設住宅も被災者です。ないがしろにされているようで疎外感を感じました。【沿岸南部】
- 仮設住宅の人達には、時々でも血圧測定等。体調などの事で訪問されてるようですが、みなしひ假設住宅民には全然ありません。2011年の3月以降仮設住宅の仮設住宅のくじがなかなかあたらなかったので、みなしひ假設に入りましたがまちがいでました。【沿岸南部】

### (15) 介護について (5 件)

- 別居している義祖母が軽度の認知症です。平日はほぼ毎日デイサービスに通っているのですが、土日は休みなので急用がある時など困っています。何時間だけでも良いので、急でもみてくれる施設なんかがあればいいですね。【沿岸南部】
- 自宅への訪問介護は大変ありがたいです。今後もよろしくお願ひ致します。【沿岸南部】
- 要介護4の主人の入浴訪問介護サービスを週一回利用しています。ありがたいと感謝～！！【沿岸南部】
- 同居人に介護人がいるため引きつづき介護保険利用者負担減免をおねがいしたい。【沿岸南部】
- デイサービスで月に4回利用しても1回利用も同じ。おかしいと思う。【沿岸南部】

## (16) 健康について(不安) (5 件)

- みなし仮設住宅に 5 年、災害公営住宅に去年の 9 月から入居しております。5 年目の月日でようやく気持ちもおだやかになりつつ少しホッとしてましたが、又公営に移り、年も 75 才になり先が心配です。身体の方もあまり良くなく足の方が不便でこの先が心配です。【沿岸南部】
- 復興住宅もほぼ完成し、これからまた新たな生活が始まります。不安と心配を感じながらも頑張ります。二人共に高齢なので健康に(認知症)気を付けながら。【沿岸南部】
- 被災から 5 年すぎ大変だったが皆様のおかげで支援をいただきありがとうございました。体の体調があまりよくない。早く家にはいりたいです。皆さんがいなくなり淋しい毎日です。これからも宜しくお願ひします。【沿岸南部】
- 診療所に先生がいなくなること。【沿岸南部】
- 震災後、体調をくずし、ずっと病院へ通っています。一生お薬と離れないようです。【沿岸南部】

## (17) 寂しさ・孤独感 (4 件)

- 釜石に帰りたい。記憶の中の故郷へ。【内陸】
- 奥州市の社協にはこちらにきた時はずい分お世話になり、いろいろな集りなど企画していただきました。今は無くなりつつあります。復興支援センターなどにお世話になっており、私はその集りにいかないと、余り他の人と話す事は有りません。自立したとみなされていますが、少々さびしい気もします。【内陸】
- 5 年間一緒に過ごして親しくなった方々がそれぞれ仮設を離れていく、さびしくなりました。今後も交流が続けられる様、催しもので繋がっていきたいと希望します。【沿岸南部】
- 私は災害公営住宅に 1 人ですんでます。はなし相手がなく一日だれとも話しをしないことがあります。社協さんは、一人暮らし世帯の私の所に家庭訪問にきてくれます。これは話ができるうれしいです。【沿岸南部】

## (18) 就労について (4 件)

- 地元に仕事をたくさんもってくればいい。【沿岸南部】
- 就職先をさがしているが、うまくいかない。【沿岸南部】
- 私は家族を陸前高田に残し、1 人北上に単身赴任しています。高田に家を建てましたが、ローンを組んだ事もあり、結局週に 1 日しか帰れません。それが大変辛く悲しいです。高田に帰って同等の待遇の勤務先があればすぐにでも帰りたい。そんな気持ちをわかってくれるのが妻だけでした。震災のためとはいえ、その不条理が受け入れられないのですね。被災されてない方はそんな思いをしていないのに、と思ってしまいます。【内陸】
- 年寄りでも働ける場所か仕事が欲しいです。【沿岸南部】

## (19) 情報提供について (3 件)

- 東日本大震災で自宅が被災し、今度は台風 10 号で職場が被災し、休業状態です。今後の見通しがはつきりしないので、これからが大変心配です。ネットで被災した時の手続き等をまとめた情報をみれると助かります。【沿岸北部】
- 津波で罹災し借家に 23 年 5 月から住んでましたが、みなし仮設住家と認められず家賃を支払う。電気器具はいっさいいただきません。社協の方が市役所にいって聞いた所、申請しなかったためと言ったそうですが、25 年 5 月から何回も市役所に行きましたがどなたも申請しなさいとはいいませんでした。今は自分の家に住んでますがこの様な事のないようにくれぐれもお願ひ致します。【沿岸南部】
- 今後、家を建てるにあたり、どのように進めれば 1 円でも安くすることが出来るか?などくわしくおしえてほしい。【沿岸南部】

## (20) その他 (35 件)

- 相談したことに対しての返事等があいまいだと思います。【沿岸南部】
- 震災の時は 3~4 日くらいから物資などが届き住民たちで協力し合い仕事がスムーズでしたが、今度の台風などがなかなかはかどらない。【沿岸南部】

- 各方面より、同様なアンケートが要請され回答すると、その後のアンケート結果やそのためにどのような対策を実施した又は予定がある等、結果の報告がない？研究者のデータのみではいけない。【沿岸南部】
- いつもご支援ありがとうございます。生活面では、自宅再建に向けて進めておりますが、心の空白は何年たってもうめることができず、震災後の苦しみは、いやされることはありません。【沿岸南部】
- 空き家になっている仮設住宅の周辺の草取りや、雪かき等を行って頂ければ助かります。【沿岸南部】
- 視力障害者への対応がおそい。【沿岸南部】
- 私は災害公営住宅に住んでおりますが邪魔にならないでいどにコスモスや朝顔等の種をまきたいのですが（フェンスの所）、よろしいですか？同じ団地に入居している方から公営住宅だからしてはダメだと言われたものですから。【沿岸南部】
- 一日でも早い復興を願うばかりです。【内陸】
- 仮設住宅に居る時作り話やいやなうわさ話を流されこまりました。けんかをするのはかんたんですが、仮設の皆さんにいやな思いをさせてはと思いがまんをしていました。体調もおもわしくなく今の住宅にくる迄大変でした。今は少しずつですが体調もよくなってきてています。病院では PTSD という病気だといわれました。【沿岸南部】
- 私は旧田老町の街で生活していましたが、しかし今回の被災で田老は無くなったと感じています。全県に知られている防波堤があるにもかかわらず役にたたなかつた。誠に残念に思います。今後生活するには対策が必要になると思います。【沿岸南部】
- サポーターの訪問は相談、情報を得て喜ばしいが、それ以上の個人的な部分まで口を出されると断りたくなる。境界線を持って接して欲しい（特に金銭的な事）。【沿岸南部】
- 郵便ポストが近くに欲しい。【沿岸南部】
- 社会福祉協議会さんには関係ないでしょうが、今年の 12 月に免除証明書も切れるでしょうし家賃の減免も切れるとなるとちょっと考えさせられるようになるので、あと一年か半年位はお願いしたいと思います。それに自分の入っている住宅には 2 月に入ったのでまだまだなれてない気がします（自分の家とは違うから）。【沿岸南部】
- 長い間お世話になり本当にありがとうございました。今後は、岩泉町は台風 10 号で被災した人達へ支援していただきたいです。心の痛みのケアをしていただきたいです。【沿岸北部】

## (21)特になし（27 件）

- 何も有りません。本当に有りがとう御座いました。【沿岸南部】
- 特になし。【沿岸南部】